

創業55周年の感謝を込めて 冬のヨーロッパ 関空発3コース

冬のヨーロッパを舞台にした旅が55周年謝恩企画として登場しました。全コース、エールフランス航空またはKLMオランダ航空を利用したツアーとなっており、日中フライトを利用して、初日を機中泊でなく、ホテル泊となる身体に優しい日程です。パンフレットもご用意しておりますので、ご興味お持ちの方はお気軽にお問合せください。



デルフト (イメージ)

■ **フェルメールの故郷デルフト3泊と
珠玉の美術館巡り 8日間**

関空・福岡発
12/18 (木)、1/29 (木)、2/19 (木)



「ジュール・セザール」 (イメージ)

■ **名門ホテル「ジュール・セザール」3泊と
南仏の美しき町々 8日間**

関空・福岡・名古屋駅発
12/11 (木)、1/22 (木)、2/26 (木)



「リル・ドゥ・ラ・ラギュヌ・タラン&スパ」 (イメージ)

■ **ルレ・エ・シャトーで楽しむ
カタルーニャからマルセイユへの旅 9日間**

関空・福岡発
12/7 (日)、2/15 (日)



ワールド航空サービス 大阪支店LINE

国内・海外ツアーの先行案内やおすすめのコースを中心に、旬の情報をお届けします。ツアーのお申込みやパンフレットのご請求、催行状況のお問い合わせなども対応しておりますので、ぜひご登録ください。右記のQRコードをお読み取りいただくか、LINEアプリ内の「友だち検索欄」にIDを入力の上追加登録ください。

@671idobp



メールマガジン

おすすめのツアーや添乗員の帰国レポート、最新情報が満載の視察レポートなどをメールマガジンでお届けします。

ご登録はこちら



●この書面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書面及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立

旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金のお支払い

旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金

「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの

- (1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。
 - ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
 - ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
 - ③ 宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
 - ④ 食事の料金(機内食は除く。)&及び税・サービス料金
 - ⑤ 添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用
 - ⑥ 観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等
 - ⑦ 航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金
 - ⑧ 団体行動時の必要な心付け
 - ⑨ 旅行日程中の海外の空港税、同通税、同空港利用料
 - ⑩ その他(パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもの)
- (2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの

- 上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。
- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
 - (2) 個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
 - (3) 渡航手続関係諸費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)
 - (4) お1人部屋を使用される場合の11室1名利用追加代金
 - (5) 日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税
 - (6) 港湾利用料、政府関連諸税等
 - (7) 燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額分は、払戻しをいたします。)

●お部屋について

- (1) 部屋割りとは、原則としてホテル又は船会社が予め定めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバス付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情によりリジャーのみとなる場合があります。

- (2) 可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては、「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのベッドマットが1つの枠の中に入っている「ジャーマンツイン」の客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

※ホテルの★の数の記載に関して

弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えきていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光

船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることがあり、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について

座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について

当社は、原則として時刻を記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻を記載できない一部の日程表については、下記の時時間帯で表記します。

04:00	08:00	12:00	16:00	18:00	22:00
朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜

●日程表中のマークについて

- 観光について：●＝入場観光 ○＝下車観光 ㊦＝ユネスコ世界遺産
- お食事：朝＝朝食(原則としてホテルでの朝食をご用意しておりますが、ツアー行程の関係で簡素なボックスブレックファースト等となる場合もございます) 昼＝昼食 夕＝夕食(軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます) 機＝機内食 □＝食事なし
- 乗り物：➡＝航空機 ㊦＝バス ㊦＝列車 ㊦＝自動車 ㊦＝船 ㊦＝ロープウェイ

●本パンフレットの掲載写真と地図について

パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを掴んでいただくよう、ツアーに即した写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度でご覧いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、およその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを掴んでいただくためのものです。

●旅行契約の解除・払戻しについて

旅行契約が成立した後(以下に以下の区分により定められた取消料をお支払いいただくことにより、お客様は旅行契約を解除することができます。

旅行契約の区分	適用する取消料
日本出国時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約(貸切り航空機を利用するコースを除きます。)	<表1>
日本出国時又は帰国時に貸切り航空機を利用する募集型企画旅行契約	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
旅程中に3泊以上のクルーズ日程を含む旅行でパンフレット等に別途明示があるもの	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
日本発着時共に船舶を利用する募集型企画旅行契約	当該船舶に係る取消料の規定によります。

<表1> 日本発着時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約

旅行契約の解除期日	取消料
旅行開始日がピーク時の旅行である場合であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日までで解除するとき	¥30,000 お支払い対象旅行代金が30万円未満のときは10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降21日目に当たる日までで解除するとき	¥50,000 お支払い対象旅行代金が25万円未満のときは20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に当たる日以降3日目に当たる日までで解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前々日に当たる日から当日(旅行開始前)までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%

(注1) 旅行契約解除の申出は、当社の営業日の営業時間内にお願いします。

当社の営業日の営業時間、連絡先(電話番号等)及び連絡方法は、お客様自身でもお申込時に必ずご確認ください。

(注2) 「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。

(注3) <表1>の「お支払い対象旅行代金」とは募集広告又はパンフレット等に「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行条件・旅行代金の基準

ご旅行条件につきましては、このパンフレットに記載しました契約内容・条件の他、旅行条件書(全文)、確定書面(最終旅行日程表)及び当社の旅行業約款によります。ご旅行条件は、2025年8月1日現在の運賃・料金を基準としております。

旅行企画・実施 **ワールド航空サービス**

□ **東京支店** TEL: 03-3501-4111

東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩

□ **大阪支店** TEL: 06-6343-0111

大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 柴尾 祐樹

□ **名古屋支店** TEL: 052-252-2110

名古屋市中区栄3-14-7 RICC栄8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範朗

□ **九州支店** TEL: 092-473-0111

福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多倍成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子

□ **札幌支店** TEL: 011-232-9111

札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智

□ **湘南支店** TEL: 0466-27-0111

神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アンパビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光庁登録旅行業201号

2025・12月～2026・4月出発



WORLD

55 Anniversary YEARS SINCE 1971

あなたの旅を想うことから旅を紡いで55年。

世界各地へ テーマでご紹介
ビジネスクラス利用の旅、地球を歩く、
ワールド人気の旅、近場のアジア、船旅

大阪支店
おすすめの旅



西日本営業統括
大阪支店長
柴尾 祐樹

2025 December ~ 2026 April

関西空港から世界各地へ

人気の高い船旅や、

「地球を歩く旅」の新コースをご用意。

シーズンを迎える近場のアジアの旅にも

ご注目ください！

冬から春にかけて、関西空港発着を中心とした「大阪支店おすすめの旅」のパンフレットをお届けいたします。今回も、大阪支店オリジナルコースやテーマを明確にした新企画などを多数ご用意しましたので、ぜひ手に取ってご一読ください。

新企画としてご用意したのは、マサイ族の第2夫人が同行するケニアの旅。観光目的ではないマサイ族の集落を訪れ、通常のツアーでは味わえない体験をご提供します。マサイ族を深く知る、一味違ったケニアの旅は特におすすめです。また、現地を視察し、新たな見どころが加わったアルジェリアの旅にもご注目ください。人気の高いテーマとしてご好評いただいております「地球を歩く旅」では、絶景を楽しむヒマラヤのトレッキングコースや歴史文化に思いを馳せるソウル城郭トレイルを発表しております。歩くからこそ見えてくる旅の楽しみをぜひご体感ください。

季節的にシーズンを迎えるアジアの旅も多く取り揃えました。新企画となる日本航空を利用したタイの2コースや神戸空港発着の台湾の旅、食と季節感をテーマにした中国の旅など、比較的リーズナブルな価格で気軽に海外の旅をお楽しみいただけます。近年人気の高まっているクルーズの旅も3コースご用意しておりますので、皆様のご希望に合う旅選びをお楽しみいただきたいと思います。

これからも関西から心躍るユニークな旅をご提案していきますので、大阪支店が発信する旅にぜひご注目ください。



関西空港以外からご参加の皆様へ お住まいの地域から関西空港までの「国内移動プラン」をご用意しました

※国際線が関西空港発着以外のツアーにつきましては対象となりません。

このパンフレットでご紹介するコースは、各地からも便利にご利用いただける「国内移動プラン」（※1）をご用意しております。お住まいの地域からの国内線航空券代や関西空港近郊の前泊・後泊のホテル代が、ご負担少なく利用いただけます。どうぞ、お気軽にご利用ください。

（※1）残席・残室に限りがあり、ご希望に添えない場合もございます。また、航空会社の指定および便の指定はできません。その他、付帯条件がございます。詳しくは各支店までお問い合わせください。

【国内移動プランの内容】 お住まいの地域からも、追加代金を加えてご参加が可能です。

往復国内線・・・追加代金¥10,000

往復国内線 + 前泊または後泊ホテル・・・追加代金¥15,000

【宿泊予定ホテル】 関西空港近郊：関西エアポートワシントンホテルまたはアストンプラザ関西空港

ホテルのグレードの記載に関して

弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えてきていること、★の数が必ずしもホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

今号ではテーマで旅をご紹介します

INDEX

頁	テーマ	ツアータイトル	日数	出発月	地域
3	新企画	「ザ・ガン号」乗車とエアーズロックの旅	10	4月	オセアニア
5	新企画	誇り高きサバンナの民 マサイを深く知る旅	10	1月、2月	アフリカ
7	新企画	美しきアルジェリア 6つの世界遺産を訪ねて	11	12月、2月	アフリカ
9	ビジネスクラス利用の旅	アラビアの源流 サウジアラビア周遊の旅	9	4月	中東
11	地球を歩く	アンナプルナ絶景トレッキングの旅	10	1月	アジア
13	地球を歩く	春の韓国・城郭トレイルと歴史文化散策	5	3月、4月	アジア
15	人気の旅	スペイン&フランス バスク巡歴の旅	9	3月	ヨーロッパ
17	人気の旅	神秘のアイスケイブと冬のアイスランド絶景の旅	10	3月	ヨーロッパ
19	人気の旅	チュニジア周遊の旅	12	1月	アフリカ
21	近場のアジア	北方の薔薇チェンマイと「黄金の三角地帯」の旅	8	3月	アジア
23	近場のアジア	海と森で寛ぐ 優雅な王室リゾート地とクワイ川の旅	8	1月	アジア
25	近場のアジア	赤い睡蓮の湖とタイ・ラオス絶景紀行	7	1月	アジア
27	近場のアジア	今、話題のレストラン「福和慧」と江南水郷古鎮の旅	5	1月	アジア
29	近場のアジア	芭石鉄道・菜の花畑SLと花咲く里へ 四川省春の旅	9	3月	アジア
31	近場のアジア	【神戸発】2つの故宮博物院を訪ねる台湾食彩紀行	4	1月、3月	アジア
33	船旅	セレブリティ・ミレニアムでゆく アジアの美食クルーズ	15	1月	クルーズ
35	船旅	バイキング・エデンでゆく日本再発見の船旅	8	2月	クルーズ
37	船旅	スター・レジェンド 早春のコリントス運河通峡の船旅	11	3月	クルーズ

今号のテーマ

新企画 …………… 従来の観光では体験できないマサイ族の真の暮らしに触れるケニアの旅や、現地視察を経て新たな訪問地を加えたアルジェリアの旅など、より深みのある魅力をお届けします。

ビジネスクラス利用の旅 …… 上質なサービスと広々とした空間で快適な空の旅もお楽しみいただけるコース。需要が高まるビジネスクラスの座席を確保しご案内します。

地球を歩く …………… 歩くからこそ楽しめる自然景観や、そこから見えてくる地域の魅力を味わっていただく旅です。

人気の旅 …………… 毎年ご好評いただいているコースでありながら、改善を重ね完成度が高まっているワールドの人気のコースです。

近場のアジア …………… 日本から近く、短いフライト時間でありながら、異国情緒あふれる風景や異文化に出会える近場のアジアの旅。

船旅 …………… ラグジュアリーやプレミアム、船のカテゴリーも様々です。洋上のホテルでゆっくりと過ごし、魅力的な寄港地での観光も楽しめます。

現地のプロがご案内いたします

誇り高きサバンナの民 マサイを深く知る旅 5ページ

ケニア・マサイ族に嫁いだ日本人 永松真紀さん

福岡県出身。添乗員として世界各地を巡った末、心から「ここに住みたい」と思えた国がケニア。1996年からケニアに移住し、現在はマサイ族の第2夫人として伝統的な生活を送りながら、アフリカの奥深い魅力を伝えています。

マサイの人々と共に暮らす中で知った、ガイドブックには載らないケニアの真の姿。野生動物との共存、大自然の中で営まれる人々の暮らし、そして温かなマサイの心。現地に根ざした永松さんだからこそご案内できる、特別なアフリカ体験をお約束します。



私が暮らす村をご紹介します。旅行中は実体験をもとに本当のケニアをご紹介します。

アンナプルナ絶景トレッキングの旅 11ページ

ヒマラヤを愛する山岳ガイド・ホテル総支配人 井本重喜さん

佐賀県出身。エベレスト世界初登頂ルート制覇者として知られる山岳ガイド。探求心から始まった登山人生は、ヒマラヤの壮大な美しさに魅せられ、ネパール滞在は20年にも及びます。現在は「ホテル アンナプルナ・ビュー・サランコット」総支配人として、世界最高峰の景色を間近で楽しめる滞在をプロデュース。登山家ならではの視点で、ヒマラヤの絶景ポイントや隠れた魅力をご案内いたします。

「世界中探しても、ヒマラヤに勝る壮大な景色はありません」——頂を極めた男が語るネパールの真の魅力を、ぜひ体感してください。



天気安定する1月中旬に特別なトレッキングの旅を企画しました。ヒマラヤの山麓を楽しく歩きましょう！

オーストラリア大陸縦断鉄道
「ザ・ガン号」乗車と
エアーズロックの旅 10日間



赤の牽引車と銀色の車体が美しい「ザ・ガン号」(イメージ)

ここに注目。旅のポイント

優美な田園風景から始まりアウトバックへと様々な景観をみせる「ザ・ガン号」

オーストラリア大陸を走る鉄道の中でも人気が高く、鉄道ファン憧れの「ザ・ガン号」の旅です。今回ご案内するのは、アデレードからダーウィンまでオーストラリア大陸の南北を縦断するルートの中でも、ハイライト区間となるアリススプリングスまでの旅。150年以上前に、アフガニス

タンから渡り、未開の地の探検を助けたラクダの隊列に由来する愛称「アフガン特急」にちなんで現在の列車名になりました。緑豊かなアデレード近郊の田園風景から、アウトバックの赤茶けた大地へと次第に変わる車窓の景色を楽しむ1泊2日の鉄道の旅を心ゆくまでお楽しみください。



荒涼とした大地が広がるアウトバックを走る「ザ・ガン号」の雄姿(イメージ)



ベッドメイキング中の2名部屋(イメージ)



移りゆく車窓風景をお楽しみください(イメージ)

ツアープランナーより

世界第6位、768万km²と広大な大地を誇るオーストラリア。その大陸のほぼ中央に聳えるのが、アボリジニの人々が聖地として崇めるウルル(エアーズロック)です。世界最大一枚岩が広大な大地に屹立する姿は、大自然の圧倒的な迫力に満ちており、その神聖さは他に比較しようがありません。ただ訪ねるだけであれば、航空機を利用して気軽に訪れることができますが、今回はあえて「ザ・ガン号」の列車の旅を選びました。荒涼とした大地を車窓から眺めながら、車内では列車内とは思えない、地元食材にこだわった質の高い食事や地元ワインを楽しめます。果てしなく真っ直ぐに伸びる線路と、オーストラリア独自の景観であるアウトバックを走ることで、オーストラリアの広さを体感でき、その後に会おうウルルは感動もひとしおでしょう。



ウルルの夜は幻想的なフィールド・オブ・ライトを見学します(イメージ) ©Tourism Australia

「ザ・ガン号」で壮大な大自然を眺めながら食事を堪能します

食堂車でのお食事は、旅の魅力を一層引き立ててくれます。夕食時には、専任シェフによるオーストラリア産の食材にこだわったコース料理が用意されます。ドレスコードもなく、リラッ



フレンドリーなスタッフ(イメージ)



オーストラリア産の食材を使った料理(イメージ)

車内生活も充実しています

アデレード駅から乗車したあと、車窓からは郊外のブドウ畑の風景、そして低灌木地帯へと景色が変わっていき、移りゆく車窓風景をただ眺めているのも贅沢なひとときです。マーラの



マーラでは幻想的な砂漠の日の出を(イメージ)



パロッサ・バレーのワイン(イメージ)



アボリジニの聖地 世界遺産ウルル(エアーズロック)で2連泊

ウルル(エアーズロック)ではデザート・ガーデンズ・ホテルに2連泊し、オーストラリアの聖地を満喫します。初日は夕刻のサンセットツアーで、夕日に照らされ刻々と色を変える神秘的なウルル(エアーズロック)の美しさを体験。翌朝は早朝のサンライズツアーで朝日に染まる荘厳な姿を見に行きます。日中はカタ・ジュタ(オルガ山

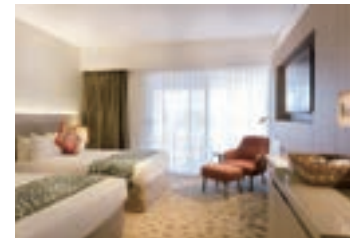
群)へ足を延ばし、オルガ渓谷のトレイルで大自然の中をハイキング。夜は幻想的なフィールド・オブ・ライトで、5万個のLEDが織りなす光のアートインスタレーションを楽しみます。ホテルは砂漠の中のアオアシスとして快適な滞在を提供し、世界遺産ウルル(エアーズロック)の神聖な魅力を存分に味わえる贅沢な2日間となります。



世界遺産ウルル(エアーズロック)のサンセットツアーの風景。朝に、夕に世界最大級の一枚岩をご覧ください。(イメージ)



エアーズロックリゾートに連泊(イメージ)



デザート・ガーデンズ・ホテル客室(イメージ)

太古の世界 世界遺産ブルーマウンテンズ国立公園も訪れます

どこまでも続くユーカリの原始林と古い地殻がむきだしになった大渓谷ブルーマウンテンズは、ユーカリの油分が蒸発すると、太陽光に反射し青みがかって見えることからこのように名付けられています。ユーカリの森を眼下に眺めながら地上270mを空中散歩するロープウェイにも乗車して大自然を満喫します。また展望台からは渓谷にそびえ立つ3つの奇岩スリーシスターズや、深い樹海に覆われたジャミソン・バレーなどの雄大な景観が広がります。



奇岩スリーシスターズ(イメージ)



ロープウェイで空中散歩も楽しめます(イメージ)

利用予定航空会社：シンガポール航空		ツアーコード：OA154Q	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【関西空港集合・10日間】 2026年 4月17日(金)		エコノミークラス利用 ¥1,120,000	ビジネスクラス利用 ¥1,640,000
		列車2名室(2泊)を2名利用の場合の 1人当たりの代金(上下2段ベッド)	
列車の1名室(1泊)利用追加代金：¥115,000(但し、2名室と違い、トイレ、シャワーは共同)			
列車の2名室(1泊)の1名利用追加代金：¥420,000			
※上記追加代金はいずれもホテルの1名利用追加代金も含まます。			
ビジネスクラス利用区間:国際線区間の全区間(関西空港～シンガポール～アデレード・シドニー間往復)			
燃油サーチャージは不要です。			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	関西空港10:55発→シンガポール16:30着 シンガポール23:25発→	午前、関西空港よりシンガポールへ向かいます。着後、航空機を乗り換えアデレードへ。	(機中泊) □機機
2	アデレード07:25着(パロッサ・バレー)	朝、アデレード到着。着後、バスにてパロッサ・バレーへ向かいます。昼食は、ワイナリーでご用意しました。昼食後、市内に戻り、州議事堂などの車窓観光にご案内します。	(アデレード泊) □昼夕
3	アデレード昼頃発	午前、アデレード・パークランズ・ターミナルへ。人気の大陸縦断鉄道「ザ・ガン号」に乗りし、1泊2日の鉄道旅をお楽しみください。(ザ・ガン号 車中泊) 朝昼夕	
4	マーラ アリススプリングス13:45着	朝、アウトバックの中心マーラに停車。大自然の中で朝食をお召し上がりください。午後、アリススプリングスにて下車。デザート・パークの観光。オーストラリア固有の動物たちと触れ合います。	(アリススプリングス泊) 朝昼夕
5	アリススプリングス09:00着 ウルル(エアーズロック)15:00着	午前、バスにてウルル(エアーズロック)へ。(約5時間)夕刻、夕日に照らされ刻々と色を変えるウルル(エアーズロック)のサンセットツアーにご案内します。(注)	【2連泊】(ウルル(エアーズロック)泊) 朝昼夕
6	ウルル(エアーズロック) (カタ・ジュタ)	早朝、ウルル(エアーズロック)のサンライズツアーへ。(注)午前、カタ・ジュタへ。オルガ渓谷のトレイルにご案内します。午後、自由行動。夜、フィールド・オブ・ライトへご案内します。	(ウルル(エアーズロック)泊) 朝昼夕
7	エアーズロック空港14:25発→シドニー18:00着	午前、出発までゆっくりお過ごしください。午後、国内線にてエアーズロック空港からシドニーへ。着後、ホテルへチェックイン。	【2連泊】(シドニー泊) 朝昼夕
8	シドニー (世界遺産ブルーマウンテンズ国立公園)	終日、ブルーマウンテンズ国立公園へ。奇岩スリーシスターズをはじめ、豊かな自然をゴンドラ、水平ロープウェイなどを利用して、様々な角度から楽しめます。	(シドニー泊) 朝昼夕
9	シドニー18:05発→シンガポール00:20着	午前、チェックアウトまでゆっくりお過ごしください。午後、シドニーの車窓観光。オペラハウス、ハーバーブリッジなどご覧いただき、空港へ向かいます。航空機にてシンガポールへ。	(機中泊) 朝□機
10	シンガポール01:25発→関西空港08:50着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。	朝、関西空港到着後、解散。 機□□

(注) 夕日、日の出の観賞は天候により、ご案内できない場合がございます。○お食事に関して：軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意
■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食7回、昼食7回、夕食7回 ■添乗員：関西空港ご出発時から関西空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時まで有効なもの ■バスポート査証未使用欄：連続2ページ以上必要 ■オーストラリアの入国の際、専用アプリ【AustralianETA】をモバイルデバイスにダウンロードしたうえで、電子入国許可の事前申請が必要となります。現在、旅行会社での代行取得ができないため、お客様ご自身の手続きが必要となります。ご心配な方は、最寄りの弊社の支店にお越しいただけましたら、スタッフが登録のお手伝いをさせていただきます。(その場合、手数料としてお一人様につき6,600円(税込)にて承ります)。申請にはバスポートと必要書類がありますので、詳しくは各支店までお問合せください。 ■ご自身で取得される場合は、AustralianETAサイト(https://immi.homeaffairs.gov.au/visas/getting-a-visa/visa-listing/electronic-travel-authority-601#HowTo)にアクセスして取得してください(実費20豪ドル、クレジットカードが必要となります)。

ご宿泊ホテル
■ アデレード：インターコンチネンタル・アデレード アデレード駅の目の前にあり、散策にも便利な立地です。
■ ザ・ガン号 ※2名室のキャビンは、シャワー・トイレ付きとなります。ベッドは日中はソファとして、夜は2段ベッドとして利用します。
■ アリススプリングス：メルキュール・アリススプリングス・リゾート
■ ウルル(エアーズロック)：デザート・ガーデンズ・ホテル エアーズロックリゾート内に位置するホテルです。
■ シドニー：アモラ・ホテル・ジャミソン・シドニー
※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

マサイ族の第2夫人 ケニア在住の日本人ガイドと巡る 誇り高きサバンナの民 マサイを深く知る旅 10日間



マサイ族(イメージ)

ここに注目。旅のポイント

「私の夫はマサイ戦士」の著書で知られる永松真紀氏が同行

永松氏が嫁いだマサイ族の村を訪ねます

ケニアやタンザニアには、自然とともに生活をするマサイ族の村が点在しています。通常の観光で訪ねるマサイ族の村は、観光客へ対して、飛び跳ねてみせたりする見世物的な内容で俗化しているのが現状です。今回はマサイマラの中でもマサイの第2夫人として嫁いだ永松氏が暮らすマサイ族の村を訪ねます。サバンナで伝統を守りながら生活を営む、誇

り高きマサイ族の文化や生活様式をリアルに体験しながら交流を楽しみます。



マサイ族の村では、山羊のバーベキューで歓迎です



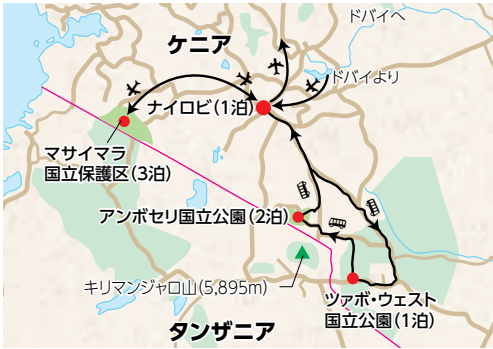
マサイの村と周辺をウォーキングにご案内します



マサイの道具、弓矢の使い方を村の方から学びます

ツアープランナーより

見渡す限りのサバンナを駆け抜ける野生動物、自然の中を生きるマサイの人々。今回は、サバンナの動物とマサイに焦点を当て、深く掘り下げた旅としました。ケニア在住の経験豊富なガイドであり、マサイ族の第2夫人として嫁いだ永松真紀氏が現地の全行程に同行します。動物の生態系はもちろんのこと、マサイ族とともに暮らすリアルな話を聞ける貴重な機会です。赤い象で有名なツァボ国立公園、文豪ヘミングウェイが愛したキリマンジャロを望むアンボセリ国立公園の2つに加え、ケニアが誇る国立保護区マサイマラにてゆっくり3泊します。ケニアの大自然とともにマサイ族の文化や伝統を深く知る新しい旅です。



ビッグ5を追い求めてアンボセリ国立公園を満喫

ケニアの旅の醍醐味といえば、ビッグ5（ライオン、ヒョウ、ゾウ、バッファロー、サイ）を追い求めるサファリドライブです。特にこの時期は、動物たちが出産シーズンを迎えるため、様々な草食動物の群れの子供を観察するチャンスです。動物たちが特に活発となる早朝と夕方の時間帯を狙ってサファリに出かけます。キリマンジャロの雄峰とこれぞアフリ

カという広大なサバンナ、そして動物たちの姿を楽しみます。



アンボセリ国立公園 キリマンジャロを背景に、サバンナを歩くゾウの親子(イメージ)

動物の種類ではケニア随一を誇る、マサイマラ国立保護区に3連泊

ビッグ5はもちろんのこと、チーターやハイエナなどの肉食動物、キリン、シマウマなどの草食動物、サファリと聞いて想像する動物はすべて生息します。3連泊するからこそ、さまざまな動物と出会うチャンスは高まります。マサイマラへはサバンナや一部悪路を走るため、往復となるとお身体への負担も大きくなります。今回は往復ともに航空機利用で身体へのご負担を軽減し、よりサファリを楽しんでいただけるようにしております。



中々見ることができないヒョウは、疎林帯などの木々の上に生息していることも多い(イメージ)



悠々と歩く雄ライオン(イメージ)

赤い象が代名詞 ツァボ国立公園

ツァボ国立公園は、ケニア最大の国立公園で四国よりも大きい面積を持ち、ナイロビとモンバサを結ぶ道路、線路を境に東西にイーストとウェストに分かれています。今回はツァボ・ウェストに宿泊。ここにはアフリカゾウが約2万頭生息しており、ツァボ独特の赤土で土浴びをするため、体が赤やピンク色に染まり、「レッド・エレファント」と呼ばれます。また古代の火山活動が生み出した岩山、点在するパオバブの巨木など、変化に富んだ地形が魅力的です。



赤土の大地とパオバブの木(イメージ)



赤土を浴びるツァボのアフリカゾウ(イメージ)

利用予定航空会社：エミレーツ航空、カタール航空		ツアーコード：FE056Q	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【関西空港集合・10日間】 2026年 1月20日(火)、2月17日(火)		エコノミークラス利用 ¥998,000	ビジネスクラス利用 ¥1,698,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥120,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：国際線全区間(関空〜中東主要都市〜ナイロビ間往復)			
燃油サーチャージ別途目安：¥72,000：8月1日現在			
日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	関西空港	23：30発→	深夜、関西空港より航空機にてドバイへ。 (機中泊) □□機
2	ドバイ05：45着 ドバイ10：30発→ ナイロビ14：40着	着後、航空機を乗り換え、ケニアのナイロビへ。 着後、ホテルにチェックイン。	(ナイロビ泊) 機機夕
3	ナイロビ07：30発→ ツァボ・ウェスト 国立公園13：00着	朝、ツァボ・ウェスト国立公園へ向かいます。 国立公園では、サファリをしながらロッジへ向かいます。 夕刻、ツァボ・ウェスト国立公園のサファリへ。ムジマ・スプリングスを訪れ、水中展望台からカバなどの水棲生物を観察します。 (ツァボ・ウェスト国立公園泊) 朝昼夕	
4	ツァボ・ウェスト 国立公園09：30発→ アンボセリ国立公園12：00着	朝、ツァボ・ウェスト国立公園のサファリ・ドライブへ。その後、キリマンジャロの麓を走りながらアンボセリのロッジを目指します。 夕刻、マサイの第2夫人としてケニアに暮らすガイド永松氏からマサイ族の話を伺います。 【2連泊】(アンボセリ泊) 朝昼夕	
5	アンボセリ国立公園	早朝、日の出に合わせてサファリ・ドライブへ。その後、オブザベーション・ヒルにてキリマンジャロの雄姿を眺めながら朝食をご用意いたしました。(注1) 動物が活動することが少ない日中は、ロッジのプールサイドなどでお寛ぎください。 午後、マサイの村を訪ねます。 夕刻、再びサファリ・ドライブへ。 (アンボセリ泊) 朝昼夕	
6	アンボセリ07：30発→ ナイロビ14：00発→ マサイマラ15：15着	朝、サファリ・ドライブをしながらナイロビに向かいます。 着後、ナイロビ空港より国内線にてマサイマラ国立保護区へ。(注2) 着後、ロッジへ。 夕刻、サファリ・ドライブへ。 【3連泊】(マサイマラ泊) 朝昼夕	
7	マサイマラ国立保護区 (マサイの村訪問・交流)	朝、サファリ・ドライブをお楽しみください。 その後、永松氏が嫁いだマサイ族の村を訪ね文化交流体験を楽しみます。(注3) (マサイマラ泊) 朝昼夕	
8	マサイマラ国立保護区	引き続き、朝、夕のサファリ・ドライブをお楽しみください。 (マサイマラ泊) 朝昼夕	
9	マサイマラ08：00発→ ナイロビ08：45着 ナイロビ16：45発→ ドバイ22：45着	マサイマラより国内線にてナイロビへ(注2)。 夕刻、航空機にてドバイへ。 着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 (機中泊) 朝昼機	
10	ドバイ03：00発→ 関西空港17：15着	夕刻、関西空港に到着後、解散。 機機□	

※日程表の時刻は、関西空港発着のエミレーツ航空を想定したものです。他の便、他の航空会社を利用する場合は、発着空港、時刻、日程が異なります。

(注1) 天候により、キリマンジャロが見えない場合もございます。
(注2) ケニアの国内線は、受託手荷物の重量とカバンのタイプに制限があります。荷物重量：15キロ、ソフトバッグタイプをご用意ください。ハードケースのキャリーなどは利用できません。ナイロビまでスーツケースを利用して、ナイロビでスーツケースを預けて、ソフトバッグをご利用いただくことも可能です。また、国内線のスケジュールは流動的なため、時間の変更となる場合があります。
(注3) 8日目にご案内する場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食7回、昼食7回、夕食7回 ■添乗員：関西空港ご出発時から関西空港ご到着時まで同行します。 ■パスポート必要残存有効期間：帰国時6か月以上 ■パスポート査証未使用欄：見開き2ページを含む計3ページ以上必要 ■ケニア入国の際、電子渡航認証(eTA)が必要となります。※ご自身で取得される場合は、eTA専用サイト(https://www.etakenya.go.ke/en) (英語) にアクセスして取得ください(実費34米ドル) (7/1現在)。クレジットカードが必要となります。なお、eTAの発効後は90日以内での入国が必要となります。当社で代行取得をご希望の方は、申請料金：5,500円、手数料：6,600円(税込)にて承ります。証明写真：1枚(縦4.5cm×横3.5cm) 背景が明るい無地のカラーのみ、6か月以内に撮影のもの。パスポート(顔写真見開きページ)のカラーコピーをお預かりいたします。 ■予防接種について：黄熱病の予防接種は義務付けられてはおりませんが、接種が推奨されています。詳しくは担当までお問合せください。

ご宿泊ホテル

- ナイロビ：ナイロビ・セレナ・ホテル
- ツァボ・ウェスト国立公園：キラグニ・セレナ・サファリ・ロッジ
- アンボセリ国立公園：アンボセリ・セレナ・サファリ・ロッジ

アンボセリ国立公園内に位置するホテルの一つをご用意しました。最大の魅力はその景観。お天気の良い日には、ホテルの敷地から雄大なキリマンジャロや野生動物がご覧いただける素晴らしい環境が自慢です。

■ マサイマラ国立保護区：マラ・セレナ・サファリ・ロッジ

数少ないマサイマラ国立保護区内にあるロッジです。サバンナとマラ川を見下ろす丘の上にあり、広大な景観を楽しめます。国立保護区内に位置するため、サファリには最適です。客室やレストランはマサイ族の家を模した形となっています。

レセプション入口

丘の上のロッジからのサバンナの眺め

※いずれのホテルもシャワーのみの客室となります。

5

6

いざ「アフリカのポンペイ」ティムガッド遺跡へ

美しきアルジェリア

6つの世界遺産を訪ねて 11日間



世界遺産ティムガッド

ここに注目。旅のポイント

アルジェリアに点在する世界遺産をつぶさに巡る

「アフリカのポンペイ」と呼ばれる世界遺産ティムガッド

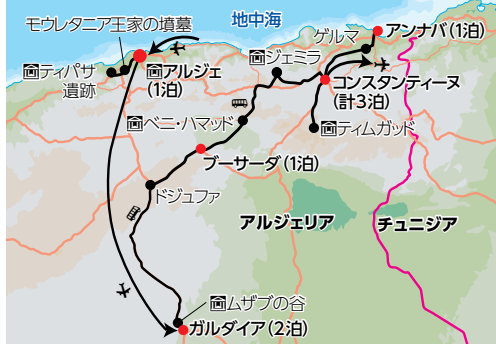
ティムガッドは、ローマ帝国の五賢帝のひとり、トラヤヌス帝によって紀元1世紀に建設されました。古代ローマの都市遺跡の中でも最も優れた都市計画全体を見ることができる貴重な遺跡で、現存する最良のローマ遺跡といわれています。都市計画の様子は現存する柱の数が証明してくれています。裕福な邸宅からは精巧なモザイクが発見されており、遺跡内の博物館でご覧いただくことができます。8世紀の大地震により砂に埋もれ、およそ一千年の時を経て発見されたその姿はまさに人類の宝と言えます。



3500人を収容するローマ劇場 最上段から眺める遺跡は実に美しい。(視察時撮影)

ツアープランナーより

アフリカ最大の国土(日本の約6倍)を有するアルジェリアは、その約80%をサハラ砂漠が占めています。先史時代には緑に覆われたこの地に人々が定住し、フェニキア人、ローマ帝国、イスラム勢力、フランスの支配を経て、1962年に独立しました。各時代の遺構が今も各地に残り、7つの世界遺産が登録されています。中でも特に壮麗なのが、ローマ帝国時代の基盤目状都市を今に伝えるティムガッド遺跡。浴場や劇場を備えたその町並みには、退役軍人たちの豊かな暮らしぶりが感じられます。今回のツアーでは、アルジェのカスバやムザブの谷、ティバサ遺跡などに加え、「アフリカのポンペイ」ティムガッド遺跡を新たに訪問。遺跡鑑賞に加え、港町でのティータイムや人々の暮らしに触れるひとときも組み込み、アルジェリアの多彩な魅力をご紹介します。



高さ12メートル トラヤヌスの門(視察時撮影)



基盤の目状の都市構造がそのまま残り、当時の様子が目に浮かぶようです(視察時撮影)

アルジェのカスバやムザブの谷、ローマ遺跡へ

ティムガッド遺跡に加え、今も人々が暮らすアルジェのカスバやイスラムの戒律を厳格に守り続けているムザブ族が暮らすムザブの谷、そして、保存状態の良いローマ遺跡として知られるティバサ遺跡やジェミラ遺跡など、アルジェリアに点在する世界遺産の数々を丹念にご紹介します。



ムムザブの谷



箇地中海に面したティバサ遺跡



箇ジェミラのセプティミウス・セウェルス神殿



箇ベニ・ハマッド



箇アルジェのカスバ。散策を楽しみます

ワールド初登場の港町アンナバ

アルジェリアの素顔に触れるプログラム

このたびは現地視察を経て、アルジェリア第4の港町アンナバをツアーに加えました。アンナバは、古代フェニキア時代から現代まで約3000年の歴史を持ち、近代的な場所もあるものの、町の中心部にはコロニアル調の建物が並び、郊外にはヒッポ・レジュス遺跡や聖オーガスティン教会といった見どころも点在しています。



ヒッポ・レジュス遺跡と聖オーガスティン教会(視察時撮影)



アンナバの「独立広場」の路上カフェ (視察時撮影)

新たな見どころも加えました

現地視察を経て、アンナバ同様にワールド初登場の見どころも加えました。より充実したアルジェリアの旅にご期待ください。



メスクチーン温泉公園 「石灰華壁」が印象的ですが、温度は97度ありますので、くれぐれもご注意ください！(視察時撮影)



ゲルマの古代劇場 修復はされているものの、なかなかの保存状態です(視察時撮影)



イメドガッセン王の墳墓、紀元前4世紀末～紀元前3世紀初頭のヌミディア王の墓で、アルジェリア最古の史跡として知られます(視察時撮影)



ランバエシス遺跡、ハドリアヌス帝の治世下でローマ軍によって築かれ、今でも大陣営が残ります(視察時撮影)

ご宿泊ホテル

■ アルジェ：エル・オウラシ

■ ガルダイア：ベルヴェデーレ

■ ブーサーダ：ホテル・サイド

■ コンスタンティーン：ノボテル・コンスタンティーン または イビス

■ アンナバ：セイブース

※観光客の受け入れ態勢が十分ではないアルジェリアでは、政府等の都合により、急遽ホテルを変更せざるを得なくなる場合がございます。

※いずれのホテルもシャワーのみのお部屋となります。

※地域によっては水回りやお湯の出が悪い場合がございます。

※ガルダイア、ブーサーダは土地柄、簡素な設備のホテルとなります。

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ、エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空、エールフランスグループ
ツアーコード：FN147Q

集合・日数・出発日	旅行代金	
【関西空港集合・11日間】 2025年 12月1日(月) 2026年 2月2日(月), 2月9日(月)	エコノミークラス利用 ¥465,000	ビジネスクラス利用 ¥1,045,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥90,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間： 【ターキッシュエアラインズ、エミレーツ航空、カタール航空、エティハド航空】：関西空港～中東主要都市～アルジェ / コンスタンティーン～中東主要都市～関西空港の区間に適用 【上記以外の航空会社】：日本発着の国際線区間におのみ適用		
燃油サーチャージ別途目安：¥62,500：8月1日現在		

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	関西空港22：50発→	深夜、関西空港より、航空機にて、イスタンブールへ。 (機中泊) □□機	
2	イスタンブール05：40着 イスタンブール08：40発→ アルジェ 10：35 着 (世界遺産アルジェのカスバ)	イスタンブール着後、航空機を乗り換え、アルジェへ。 着後、アルジェの観光。箇①カスバの散策、○ノートルダム寺院、○旧総督府宮殿へご案内します。 (アルジェ泊) 機機夕	
3	アルジェ 〓 (モウレタニア王家の墳墓) 〓 (世界遺産ティバサ遺跡) 〓	午前、未だ謎に包まれるローマ属州の○モウレタニア王家の墳墓(外観)に立ち寄り、ティバサへ。 着後、箇②ティバサ遺跡の観光。モザイクが素晴らしい●博物館や○劇場跡、○モザイクが残る教会跡、○円形闘技場などを見学します。	
4	アルジェ 18：55発→ ガルダイア20：25着	夜、国内線航空機(注1)にてサハラ砂漠のオアシス都市ガルダイアへ。 【2連泊】(ガルダイア泊) 朝昼夕	
5	ガルダイア08：00発 〓 ブーサーダ17：00着	終日、箇③ムザブの谷の観光へ。○ガルダイア村の市場、○メリカ村のシディ・アイサの墓などを巡ります。 その後、○エル・アティフ村のシディ・イブラヒム・モスク、聖都○ベニ・イスゲン村に立ち寄ります。 (ガルダイア泊) 朝昼夕	
6	ガルダイア08：00発 〓 ブーサーダ07：00発 〓 (世界遺産ベニ・ハマッド) 〓 (世界遺産ジェミラ) 〓	終日、バスにてブーサーダへ向かいます。 (ブーサーダ泊) 朝昼夕	
7	ブーサーダ07：00発 〓 (世界遺産ベニ・ハマッド) 〓 (世界遺産ジェミラ) 〓	午前、11世紀に栄えた交易都市箇④ベニ・ハマッドへ。その後、ジェミラ遺跡へ。 午後、箇⑤ジェミラ遺跡の観光。○カラカラ帝の凱旋門、○セプティミウス・セウェルス神殿、○バシリカ、●博物館などへご案内します。 夜、コンスタンティーンに到着。 【2連泊】(コンスタンティーン泊) 朝昼夕	
8	コンスタンティーン 〓 (世界遺産ティムガッド遺跡)	終日、箇⑥ティムガッド遺跡へ(注2)。途中、○イメドガッセン王の墳墓やローマ帝国の陣営であった○ランバエシス遺跡に立ち寄ります。 ティムガッドでは●博物館、○トラヤヌス帝の凱旋門、○半円形劇場など、壮大なローマ遺跡を見学します。 (コンスタンティーン泊) 朝昼夕	
9	コンスタンティーン08：00発 〓 アンナバ10：30着	午前、アルジェリア第4の港町アンナバへ。 着後、カルタゴやヌミディア、ローマなどの町として発展した●ヒッポ・レジュス遺跡や丘の上に聳える○聖オーガスティン聖堂を見学します。 また、革命広場でのティータイムや商店街の散策など、アルジェリアの日常にも触れていただけます。 (アンナバ泊) 朝昼夕	
10	アンナバ08：00発 〓 ゲルマ 〓 コンスタンティーン18：00着	午前、ゲルマへ。●ローマ劇場や郊外にある○メスクチーン温泉公園へご案内します。 夕刻、コンスタンティーンへ。 (コンスタンティーン泊) 朝昼夕	
11	コンスタンティーン14：15発→ イスタンブール19：25着	午前、徒歩にて深谷の町コンスタンティーンの散策。○シディ・ムシッド展望台、○ペレゴ歩道橋にご案内します(注3)。 午後、航空機にて、イスタンブールへ。 (機中泊) 朝□機	
12	イスタンブール02：00発→ 関西空港18：55着	航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夜、関西空港に到着後、解散。 機機□	

※上記日程表の時刻はターキッシュエアラインズの関西空港発着の便を想定したものです。他の便または航空会社となる場合には、利用空港、時刻および日程が異なります。

(注1) アルジェリアの国内線航空機は、しばしば遅延するため、お待ちいただく時間が生じる可能性があることを予めお含みください。また、スーツケースに貴重品を入れると運搬されませんので、貴重品は必ずお手持ち物をお持ちください。尚、スーツケースの重量制限は皆様20kgまでとなりますので、ご注意ください。

(注2) ティムガッド遺跡のあるバトナ県は外務省の「危険レベル2」の地域が含まれています。(危険レベル2「不要不急の渡航は止めてください。」渡航する場合には特別な注意を払うとともに、十分な安全対策をとってください(日本外務省。)) JATA (日本旅行業協会) のガイドラインに基づきまして、現地治安当局などの政府機関との安全確認、現地日本大使館との連絡体制、全行程同行ガイド及び添乗員に加え現地の係員も加えての案内体制、グループ行動を基本とし1時間以上の「自由行動」は設けない、という点に留意してツアーを実施いたします。尚、現在欧米諸国では日本のような危険レベルの指定はなく、大勢の観光客が自由に訪れています。(2025年6月1日現在)

(注3) コンスタンティーンの観光の一部は、7日目にご案内する場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食8回、昼食7回、夕食8回 ■添乗員：往路は関西空港ご出発時から、復路は添乗員は羽田（成田）空港へ同行するため、イスタンブール空港までとなりますが関西空港への帰国便のご案内をします。 ■バスポート必要残存有効期間：入国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：見開き2ページ以上 ■査証料：4,800円(2025年6月現在) ■査証取得手数料：6,600円(税込) ■査証用写真：2枚(縦4.5cm×横3.5cm 背景は白無地、カラー写真のみとなります。) ※6か月以内に撮影されたもので、スナップ写真不可。 ■バスポート本体をお預かりします。

7

新企画

ビジネスクラス利用の旅

地球を歩く

人気の旅

近場のアジア

船旅

船旅

船旅

8

キャセイパシフィック航空ビジネスクラスでゆく
アラビアの源流
サウジアラビア周遊の旅 9日間



預言者のモスク前の広場

ここに注目。旅のポイント

ついに、閉ざされていたイスラム教の聖地メディナへ

私どもは、1996年、世界に先駆け、サウジアラビアへの観光旅行を始めたことからパイオニアであることを自負しておりますが、近年までイスラム教の二大聖地であるメッカとメディナへはイスラム教徒以外の入域が許されず、ご案内できずにおりました。そのメディナへの訪問は2022年から解禁。メディナはメッカからムハンマドが移り住んだ聖地です。最古

のモスクのひとつといわれ、ムハンマドの靈廟でもある「預言者のモスク」がそのシンボル。中に入ることはできませんが、周囲の散策にもご案内します。さらにこのたびは、預言者のモスクまで徒歩圏内のホテルを確保しました。宿泊することで夜のライトアップや朝の散策など、イスラム教二大聖地のひとつメディナの本来の表情に触れることができるでしょう。



夕暮れのメディナのシンボル、預言者のモスク(イメージ) ©サウジアラビア政府観光局



預言者のモスク前の広場。傘のオブジェが強い日差しに避けています(イメージ)

ツアープランナーより

2019年、サウジアラビアは初めて外国人向けの観光ビザの発給を開始すると発表。それでもなお、聖地メディナへはイスラム教徒以外は町の中心部に入ることを許されませんでした。それがついに2022年より、預言者ムハンマドの墓のある「預言者のモスク」のすぐそばまでご案内することができるようになりました。世界中の旅行者が足を踏み入れたいであろう最新の目的地であり、垂涎の地ともいえます。さらに、このたびはこの預言者のモスクまで徒歩圏内のホテルを確保しました。夜のライトアップ、朝の散策など、メディナの町のさまざまな表情に触れることで旅の面白さが倍増することでしょう。イスラム教二大聖地のひとつをじっくりとご堪能ください。また、古代ナバテア人の遺跡マダイン・サーレやディルイーヤ遺跡、歴史都市ジェッダをはじめとする世界遺産など、必見の訪問地を網羅してご案内する、最新のサウジアラビア決定版の旅です。

ナバテア人の岩窟墳墓が連なる隊商都市
世界遺産マダイン・サーレ

サウジアラビアのマダイン・サーレは、2000年ほど前にこの地に隊商都市を築いたナバテア人の古代遺跡です。かつてはこの地から、ヨルダンのペトラへと隊商路で結ばれていました。ペトラ遺跡が切り立った岩の谷の中にあるのに対し、この

遺跡は砂漠地帯に忽然と姿を現します。巨大な岩山を削り貫き、それぞれに文様の異なる神殿風の彫刻が施された岩窟墳墓が砂漠の中に100以上残されており、その壮大な規模に圧倒されることでしょう。



世界遺産マダイン・サーレには巨大な岩窟墳墓がいくつも残されています

ギネス認定 世界最大の鏡張り建築物

アルウラの砂漠地帯の中に建つ「マラヤ」コンサートホール。息を呑むような周囲の岩山の風景を映し出すこの建築は、全面が9,740㎡の鏡面で覆われており、「世界最大の鏡張りの建築物」としてギネスに認定されています。世界にふたつとはない写真映えする不思議な建築をお楽しみください。



摩訶不思議な最新建築「マラヤ」コンサートホールの写真撮影をお楽しみください(イメージ) © サウジアラビア政府観光局提供

サウジアラビアに高速鉄道が誕生

全長453キロ、最高時速300キロ以上で走る、メッカ・メディナ高速鉄道(ハラマイン高速鉄道)は、サウジアラビアで最新の鉄道。世界中から集まる巡礼者が快適かつ安全にメッカとメディナを訪ねるために造られ、2018年に運航が開始されました。今回はメディナからジェッダまでの

鉄道乗車をお楽しみください(注1)。



サウジアラビアの鉄道乗車体験をお楽しみください(イメージ)

世界遺産ジェッダ旧市街、昔ながらの町並み

ジェッダでは「オールド・ジェッダ」の散策にご案内します。エジプトを中継地とする紅海交易の要衝であり、古くからメッカへの聖地巡礼の主要な中継基地として発展してきました。オイルマネーで一気に都市開発が進んだサウジアラビアでは近代的な高層ビルが建ち並ぶ町が目立ちますが、そのなかで、オールド・ジェッダには今も昔ながらの趣を保つ貴重な町並みが残されています。窓が壁から張

り出し、風通しを良くすると同時に日射しを遮るように造られた家々は特徴的で絵になります。



張り出し窓の建物が並び、世界遺産のジェッダの歴史地区

世界遺産の都市遺跡ディルイーヤへ

アラビア語で「盾」を意味するディルイーヤは、18世紀半ばに成立したサウド王国発祥の地。アラビア半島における政治、宗教の中心地として、数多くの宮殿や行政機関が置かれ繁栄しましたが、19世紀にオスマン帝国によって破壊されました。現在、その都市遺跡の修復作業が進み、他ではほとんど見られなくなった、アラビ

ア半島の中心部特有のナジディ建築様式の建物などをご覧ください。



第一次サウド王国時代の都市遺跡が残るディルイーヤ。世界遺産に登録されています(添乗員撮影)

世界遺産の岩絵、ハイル地方へ

ハイルへ向かう途中、世界遺産の岩絵が残るジュッバを経由します。今は見渡すかぎりの砂漠地帯が広がりますが、かつてはオアシスがあったと考えられています。それを物語

るのが、1万年以上前の遊牧民が描いたとされる岩絵です。ラクダや牛、ガチョウのような動物の姿が生き生きと描かれています。

ご宿泊ホテル

■ リヤド：ホリディ・イン・リヤド・アル・マラズ

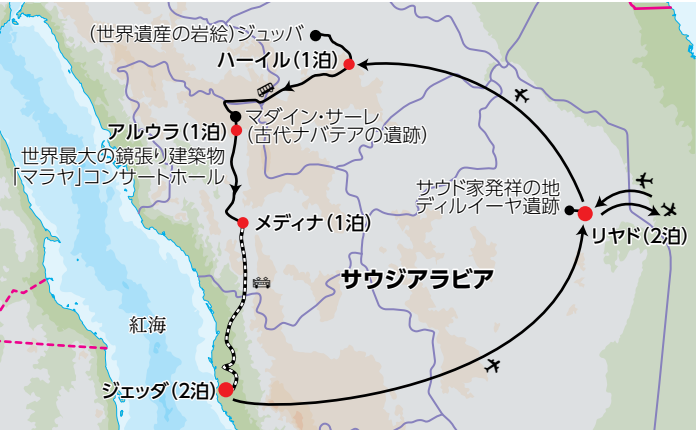
■ ハイル：ゴールドン・チューリップ・ハイル

■ アルウラ：サハリー・リゾート

■ メディナ：クラウン・プラザ・メディナ

■ ジェッダ：クラウン・プラザ・ジェッダ

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。



利用予定航空会社：キャセイパシフィック航空	ツアーコード：ME170Q
集合・日数・出発日	旅行代金
【関西空港集合・9日間】 2026年 4月6日(月)	ビジネスクラス利用 ¥998,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥100,000にて承ります)	
ビジネスクラス利用区間：関西空港～香港～リヤド間の往復に適用	
燃油サーチャージ別途目安：¥32,000 / 8月1日現在	

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	関西空港10:00発 → 香港13:05着 香港16:25発 → リヤド20:25着	午前、 キャセイパシフィック航空ビジネスクラス にて香港へ。航空機を乗り換え、 キャセイパシフィック航空ビジネスクラス にてリヤドへ。 着後、ホテルへ。	【2連泊】(リヤド泊) □機機
2	リヤド 〰 (国ディルイーヤ遺跡)	午前、ゆっくりと出発し、リヤドの観光へ。街を一望できる● キングダムセンター・タワー や● ラジヒール・グランド・モスク 、● 国ディルイーヤ遺跡 をご案内します。	(リヤド泊) 朝昼夕
3	リヤド午前発 → ハイル午前着 〰 (国ジュッバの岩絵)	午前、国内線にてハイルへ。(注1) 着後、バスにて古代人の岩絵が残る● 国ジュッバ を訪ねます。	(ハイル泊) 朝昼夕
4	ハイル08:00発 〰 アルウラ13:00着 (全面鏡張りの「マラヤ」コンサートホール)	午前、バスにてアルウラへ。 着後、全面鏡張りの○「 マラヤ 」コンサートホールに立ち寄り、○ダダーン王国の史跡を訪ねます。	(アルウラ泊) 朝昼夕
5	(国マダイン・サーレ)	午前、ナバテア王国の南の都、● 国マダイン・サーレ の観光へご案内します。(注2) 午後、バスにてメディナへ向かいます。	宿泊ホテルは 預言者のモスクまで徒歩圏内 のホテルを確保しました。(メディナ旧市街泊) 朝昼夕
6	アルウラ13:30発 〰 メディナ18:30着	午前、 イスラム教の二大聖地のひとつメディナの市内観光 へ。○ 預言者のモスク を訪れます。 午後、高速鉄道にてジェッダへ(注1)。	【2連泊】(ジェッダ泊) 朝昼夕
7	ジェッダ 〰 (タイフ) (国ジェッダ旧市街)	午前、タイフへ。○ジュブラ・パレスへご案内します。 午後、 国ジェッダ の市内観光へ。○メッカ門、○アル・シャフィ・モスク、○アラウィ・スークへご案内します。	(ジェッダ泊) 朝昼夕
8	ジェッダ午後発 → リヤド午後着 リヤド21:35発 →	午前、●タイバット博物館を見学します。 午後、国内線にてリヤドへ(注1)。 夜、 キャセイパシフィック航空ビジネスクラス にて香港へ。	(機中泊) 朝□機
9	香港11:20着 香港16:30発 → 関西空港21:15着	航空機を乗り換え、 キャセイパシフィック航空ビジネスクラス にて、帰国の途へ。 夜、関西空港に到着後、解散。	機□機

(注1) 国内線や鉄道の時間は変更となる場合があります。
(注2) マダイン・サーレの観光では現地の規則により、混乗バスに乗り換えてのご案内となります。○お食事に関して:軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックススタイルのお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員:10名様 ■食事:朝食7回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員:関西空港ご出発時から関西空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間:帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄:2ページ以上必要【ビザに関して】■査証料金:402,21サウジアラビア・リアル(約¥16,000) ※査証料金は2025年8月のレートを基準にしており、変動することもございます。残金ご請求時の為替レートで日本円に換算してご請求申し上げます。■査証手続き手数料¥6,600(税込) ■必要書類:パスポートのカラーコピー (顔写真のページ) ■証明写真1枚・サイズ:縦5cm×横5cm ・6か月以内に撮影されたもの ・背景が白色のカラー写真(背景色と同化する白の上着は不可) ・メガネ着用不可 ・正面向き(肩から上、無帽、頭頂から顎下までが3.5cm～4cm以内) ・パスポートに使用した写真は避けてください。

【重要】
※旅券にイスラエルの査証または出入国記録がある場合、同旅券ではサウジアラビアに入国できません。該当する方は、弊社までお知らせください。
※サウジアラビア到着14日以内にイランへの渡航歴のある方は、ご参加いただけません。
※18歳未満の方はご参加いただけません。

ヒマラヤの名峰と山岳民族の村を訪ねて アンナプルナ 絶景トレッキングの旅 10日間



アンナプルナ峰。時間ごとに山々の表情が変化します（イメージ）

ここに注目。旅のポイント

ネパールの山岳民族「グルン族」の村々を歩くトレッキング

勇猛果敢で、第2次世界大戦やフォークランド紛争、かつての英国統治下の香港と中国本土の国境警備に従事していたグルカ兵の故郷を辿ります。マジガオン、ランドルック、ガンドルックなどの標高2,000m前後に点在するグルン族の山村を、2日かけて歩いてめぐります。吊り橋や石畳の古道、渓谷沿いの林道を進む道中では、スレート葺きの家々や素朴な山の暮らしに触られます。途中「チョータラ」と呼ばれる休憩所も点在し、歩くこと自体が文化体験となります。

【トレッキング詳細(地名横は標高)】

■マジガオン1,400m～ランドルック1,570m
約10km、約5時間、標高差約170m（村々を通りながら、林道や石畳の道を歩きます。）

■ランドルック1,570m～モディコーラ1,350m～ガンドルック2,100m
約6km、約6時間、標高差約750m
(モディコーラまでは集落の中の石段を下ります。その後はガンドルックまで約2,000段の石段が続きます。途中には休憩所が点在しており、こまめに休みながらご案内します。)

※道中、お手洗いは限られておりますので、青空トイレとなる場合もございます。
※トレッキング中は必要な装備のみ(雨具、水、お弁当など)で歩いていただけます。不要な荷物は別送します。



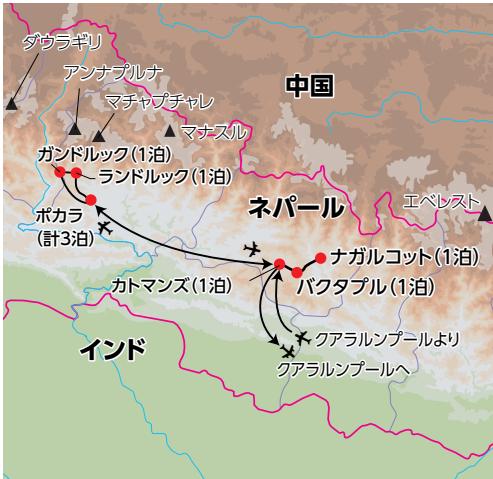
トレッキング時に見渡すヒマラヤ山脈(アンナプルナ・サウスとヒウンチュリ)(イメージ)



ガンドルック旧集落保存地域(イメージ)

ツアープランナーより

このたび新たにお届けする「地球を歩く旅シリーズ・ネパール編」は、名峰を仰ぐだけでなく、その中腹に暮らす人々と山岳信仰に守られた風土を歩いて感じる旅です。8,000m級の峰々が連なるヒマラヤは、古くから巡礼と交易の道として人々が往来し、今もグルン族の村々にその文化が息づいています。今回ご案内するのは、歩きながら文化にふれるトレッキング旅。ハイライトはランドルックとガンドルックのロッジ滞在。荘厳なアンナプルナやマチャプチャレを朝夕に望む時間が、心に残る風景となるでしょう。ナガルコットやバクタプルも訪ね、ネパールの自然と文化の奥深さを体感していただきます。



山のスペシャリスト、井本重喜がトレッキングに同行します

弊社のネパール駐在社員で、ホテル アンナプルナ・ビューの支配人の井本がトレッキングに同行します。井本はネパールに詳しいだけでなく、エベレスト登頂も2回経験しているなどアルピニストでもあります。トレッキング中は井本がネパールの文化や歴史、登山史、そして歩き方などをお伝えしながらご案内いたします。(体調等により同行しない場合がございます。)

ホテル アンナプルナ・ビュー支配人 井本重喜



晴れ渡るアンナプルナ・サウス(イメージ)

朝夕の光に染まるヒマラヤの名峰を望む絶景の宿に宿泊します。

標高2,000m前後の山腹に点在するグルン族の山村、ランドルック、ガンドルックにある、名峰アンナプルナ連峰の稜線を間近に望むロッジに宿泊。刻々と色を変えるヒマラヤの峰々、神の山と崇められるマチャプチャレやアンナプルナ・サウスの迫力ある姿は、この地ならではの絶景です。滞在中のロッジは木の温もりを感じる客室や暖炉のあるダイニングなど、快適さと素朴さが調和した宿です。素朴な村での滞在もお楽しみください。



ガンドルック マウンテンロッジからの眺め(イメージ)



ロッジの客室(イメージ)

ご宿泊ホテル

ヒマラヤの名峰を望む絶景ホテル「ホテル アンナプルナ・ビュー」に2連泊

マナスルやダウラギリの8,000m峰を一望できる絶好の地に建つ「ホテル アンナプルナ・ビュー」にも宿泊いたします。ヒマラヤを望む大きなテラスやパスタも備えた快適な造りです。ヒマラヤを眺める贅沢なひとときをお楽しみください。ホテルのテラスからの朝のヒマラヤの景色もハイライトのひとつです。

ホテルのテラスから望むヒマラヤの風景(イメージ)

デラックスルーム(イメージ)

ヒマラヤを染める朝日(イメージ)

エベレストを望む ナガルコットの丘にも宿泊

カトマンズから車で1時間程の場所にあるナガルコット。ここからはエベレストをはじめ、アンナプルナまでの山景をご覧いただけます。エベレストを地上からご覧いただけるスポットはカトマンズ近郊では実は少なく、貴重な場所です。人気のホテル「クラブヒマラヤ」を確保し、ホテルからも絶景をお楽しみいただけます。ナガルコット展望台や世界遺産チャング・ナラヤン寺院へは、美しい丘陵地帯を歩いてご案内します。



チャング・ナラヤン寺院



晴れた日にはナガルコットからエベレストもご覧いただけます(イメージ)

世界遺産の古都バクタプルを散策

889年に築かれ、12～18世紀にはマッラ王朝の首都として栄えた古都バクタプル。中世の趣をそのままに残すレンガ造りの町並みは、ネパール屈指の美しさです。ネワール文化の傑作と称される建築を堪能ください。

カトマンズにある世界遺産のバクタプルも訪れます(イメージ)



利用予定航空会社：マレーシア航空		ツアーコード：IH107Q	
集合・日数・出発日		旅行代金	
燃油サーチャージは旅行代金に含まれています。			
【関西空港集合・10日間】 2026年 1月18日(日), 1月27日(火)		エコノミークラス利用 ¥498,000	ビジネスクラス利用 ¥798,000
お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥55,000にて承ります。			
ビジネスクラス利用区間：関西空港～クアラルンプール～カトマンズ往復			
日次	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	関西空港09:55発→ クアラルンプール15:55着 クアラルンプール20:00発→ カトマンズ22:30着	関西空港より、航空機にてクアラルンプールへ。 着後、航空機を乗り換え、ネパールのカトマンズへ。 着後、カトマンズを代表する高級ホテル「ハイアット・リージェンシー」へ。	(カトマンズ泊) ☐ 機
2	カトマンズ午前発→ ポカラ午後着 ☒ ホテルアンナプルナ・ビュー	午前、国内線にてポカラへ。 着後、ポカラの観光。●国際山岳博物館へご案内します。 その後、「ホテル アンナプルナ・ビュー」へ。	(ポカラ：ホテル アンナプルナ・ビュー泊) 朝昼夕
3	ホテルアンナプルナ・ビュー 午前発 ☒ マジガオン午後着 ☒ ランドルック	早朝、ホテルのテラスより、雄大なヒマラヤの日の出をご覧ください。(注) 午前、4WD車(分乗)にてマジガオンへ。マジガオンからランドルックまでトレッキングを楽しみます。(約10km、約5時間、標高差約170m)	(ランドルック泊) 朝昼夕
4	ランドルック ☒ ガンドルック	終日、ランドルックからガンドルックまでトレッキングを楽しみます。 (約6km、約6時間、標高差約750m)	(ガンドルック泊) 朝昼夕
5	ガンドルック午後発 ☒ ホテルアンナプルナ・ビュー	午前、グルン族の伝統的な家屋の残るガンドルックの村の散策をお楽しみいただけます。 午後、4WD車(分乗)にて、サランコットの丘へ。「ホテル アンナプルナ・ビュー」に2連泊です。 夕刻、ホテルのテラスより、雄大なヒマラヤの夕日をご覧ください。(注)	【2連泊】(ポカラ：ホテル アンナプルナ・ビュー) 朝昼夕
6	ホテルアンナプルナ・ビュー	早朝、ホテルのテラスより、雄大なヒマラヤの日の出をご覧ください。(注) 午前、ロープウェイを利用しポカラへ。○日本山妙法寺からベワ湖畔へのハイキングをお楽しみください。(約2.4km、下り約1時間、標高差約300m) その後、レイクサイドへ向かい、散策をお楽しみいただけます。 夕刻、ホテルのテラスより、雄大なヒマラヤの夕日をご覧ください。(注)	(ポカラ：ホテル アンナプルナ・ビュー泊) 朝昼夕
7	ホテルアンナプルナ・ビュー ☒ ポカラ午前発→ カトマンズ午後着 ☒ ナガルコット	早朝、ホテルのテラスより、雄大なヒマラヤの日の出をご覧ください(注)。 午前、国内線にてカトマンズへ。着後、ヒマラヤ山群を望むナガルコットへ。宿泊は「クラブヒマラヤ・バイ・エースホテルズ」です。	(ナガルコット泊) 朝昼夕
8	ナガルコット ☒ バクタプル	早朝、ホテル近くの展望台より、雄大なヒマラヤの日の出をご覧ください。(注) 午前、ゆっくり出発し、エベレストやシヤンパマなど8,000m級の山々を眺めることのできる○ナガルコット展望台(標高2,100m)へ。(注) その後、車で移動し、テラコットから○園チャング・ナラヤン寺院(標高1,550m)までのハイキング(約6.5km、約2時間、標高差50m)へご案内します。 午後、園バクタプルの旧市街の散策にご案内します。	(バクタプル泊) 朝昼夕
9	バクタプル ☒ カトマンズ13:00発→ クアラルンプール20:10着 クアラルンプール22:40発→	午前、カトマンズ空港へ。 午後、航空機にてクアラルンプールへ。 着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。	(機中泊) 朝 ☐ 機
10	関西空港05:40着	朝、関西空港に到着後、解散。	機 ☐

※ネパール国内線は天候などの諸事情により遅延やスケジュール変更が発生する場合がございます。遅延等により予定していた観光施設への入場ができない場合は、入場料を実費にてご返金いたします。
(注)天候によりご覧になれない場合がございます。
○お食事に関して:軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食8回、昼食7回、夕食7回 ■添乗員：関西空港ご出発時から関西空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存期間：入国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄：見開き2ページ以上 ■査証代実費：5,000円(2025年7月現在) ■査証取得手数料：6,600円(税込)
■査証用写真：1枚(縦4.5cm×横3.5cm。カラー写真、背景は白色。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。6か月以内に撮影されたもの。) ■バスポート本体をお預かりします。 ■別途、2023年9月よりネパールを航空機で出国するすべての旅客に対し新設されたネパール付加価値税¥13,000～¥32,000(航空機のクラスにより異なる)はおお客様のご負担となります。

ご宿泊ホテル

■カトマンズ：ハイアット・リージェンシー・カトマンズ
カトマンズを代表する高級ホテルです。

■ポカラ：ホテル アンナプルナ・ビュー

■ランドルック：マウンテンロッジ・ランドルック(シャワーのみ)

■ガンドルック：マウンテンロッジ・ガンドルック(シャワーのみ)
標高2,000m 前後の尾根に点在するグルン族の山村に点在するロッジで、テラスからはアンナプルナ・サウスとヒウンチュリ両峰が眺められる絶好のロケーションです。
土地柄、全体に簡素な造りではありますが、ロビーには手造りの暖炉が設けられており、スタッフもアットホームにもてなしてくれます。
※ガンドルック、ランドルックのロッジは土地柄、客室の設備など全体的に簡素となります。給湯施設に時間制限があるため、熱いお湯が出づらい場合がございます。予めおきみください。

■ナガルコット：クラブヒマラヤ・バイ・エースホテルズ

■バクタプル：ホテル・ヘリテージ

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

ソウルの見方ががらりと変わる

春の韓国・城郭トレイルと歴史文化散策 5日間

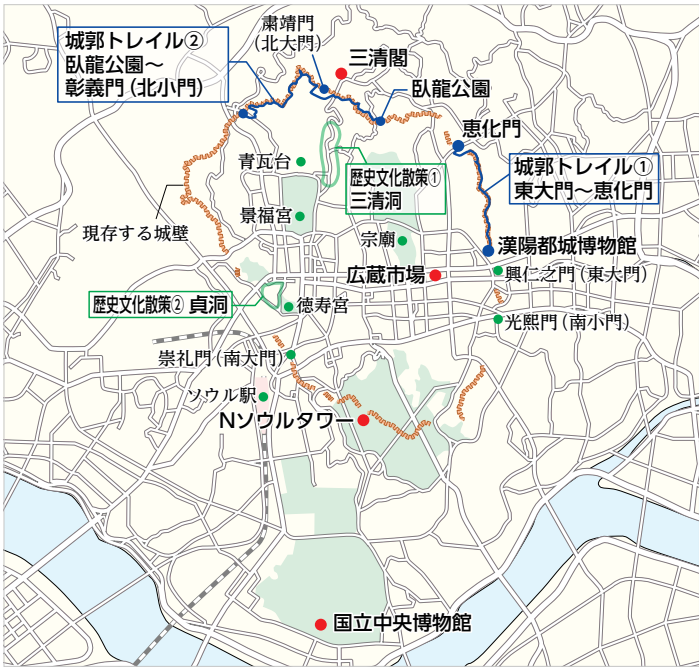


現代の街並みに隠れた歴史の痕跡を歩いて楽しめます(イメージ)

ここに注目。旅のポイント

【城郭トレイル】歩きながらソウルに残る歴史を肌で感じます

朝鮮王朝時代の首都・漢陽(現ソウル)を取り囲む漢陽都城は、14世紀末に李成桂による朝鮮王朝の建国とともに建設が始まった城壁です。のちの都市開発とともに無くなっている部分もありますが、今でも13キロ近くが残されています。仁王山、駱山、南山につながるソウル城郭に沿って歩けば、そこに込められた歴史や文化に触れ、全く違うソウルの姿が見えてくることでしょう。今回は視察を経て厳選した2つの城郭トレイルにご案内。歩く前には城郭の歴史と文化を紹介する漢陽都城博物館を見学しますので、より深く城郭トレイルを楽しんでいただけます。



ツアープランナーより

ソウルの旅と聞くと、一般的には華やかなショッピングやグルメ、定番観光地を思い浮かべることかと思います。しかし、今回の旅でご案内するのは、そうした「いつもの韓国」ではありません。韓国の首都・ソウルは、その近代的なイメージの陰に、実は千年を超える歴史の層が静かに息づいています。この旅ではあえて有名な観光地ではなく、視点を変えてあまり知られていないソウルの深い歴史的な側面に触れていただきます。「城郭トレイル」と呼ばれる朝鮮王朝の都を守るために築かれた漢陽都城の城壁に沿って歩くことで、現代の街並みに隠れた歴史の痕跡を深く感じていただけることでしょう。風景の奥にある物語を想像しながら、都市の成り立ちや人々の営みに思いを馳せ、今までとは違う見方を试着みることで、また新たなソウルの姿が浮かび上がり、都市の奥行きを感じていただけます。



徳寿宮にも足を運びます©Photo Korea -Park Jangyong

【歴史文化散策】歴史・文化を感じながら街歩きします

日々目まぐるしく変化を遂げるソウルにあって、今なお残るかつての姿を発見する散策に出かけます。2つのエリアを歩くことで朝鮮王朝の伝統文化から近代への転換期まで、ソウルが歩んできた多層的な歴史の流れを体感します。

①伝統文化と現代アートの調和が見事な「三清洞」

景福宮と昌徳宮に挟まれた北岳山麓に位置するこの街は、「山清・水清・人清」の三つの清らかさからその名を得ました。石畳の通りを歩けば、伝統韓屋とモダンなギャラリーが調和する、他では味わえない韓国の美意識に出会えます。特に「北村韓屋村」は約900軒の韓屋が保存された文化遺産エリア。朝鮮王朝時代の都市構造がそのまま残るポイントからソウルの美しい景色もご覧いただけます。



韓屋村から望むソウルのシンボル「ソウルタワー」©Photo Korea -Korea Tourism Organization, Camelpress

②屋根のない近代博物館「貞洞」

「韓国の美しい道100選」で最優秀賞を受賞した貞洞道を歩きます。この一帯は漢陽都城の西部、西大門と西小門間の城内に位置しており、城壁によって保護され、古くから王室や両班・官僚の住居空間として発達した場所です。また、李氏朝鮮時代の宮殿と王妃陵があるなど、朝鮮王朝時代以降の近代ソウルの歴史を記録している野外博物館のような場所です。



かつては各国の大使館が密集したエリア。現在では人気の散策コースです(イメージ) ©Photo Korea -Kim Jiho

世界遺産 昌徳宮の秘苑も見学します

ソウルの中心部に4万3千平方メートルの敷地に広がる朝鮮王朝の離宮「昌徳宮」。もともと離宮として建てられた為、王族がくつろげる場所であることが意識された造りになっています。風水地理学に基づいて配置された13棟の宮殿と、自然と調和した見事な庭園が見どころです。今回は、特別観覧エリアで韓国式庭園の最高傑作といわれる美しい秘苑の見学にもご案内します。



270年間王室の主要居住地として使用された昌徳宮(イメージ) ©Photo Korea -KTO Kim Jiho



秘苑エリアの芙蓉池(イメージ) ©Photo Korea - Kim Jiho, Korea Tourism Organization

アジアでも有数の規模を誇る国立中央博物館

旧石器時代から朝鮮王朝時代までの貴重な歴史資料、さらには世界各地のあらゆる文化のコレクションを収蔵する国立中央博物館も訪れます。なかでも国宝に登録される半跏思惟像は必見です。



約41万点のコレクションを所蔵する国立中央博物館 ©Photo Korea -Choi Rin



ソウルの街を囲う城郭 ©Photo Korea -KTO_Lee Beomsu

利用予定航空会社：大韓航空		ツアーコード：KR056Q	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【神戸空港集合・5日間】 2026年 3月16日(月), 4月6日(月)		エコノミークラス利用 ¥275,000	
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥35,000にて承ります)			
燃油サーチャージ別途目安：¥7,400・8月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	神戸空港11:00発→仁川13:00着 ソウル15:00着 【歴史文化散歩①】	午前、神戸より航空機にて、ソウルへ。着後、専用バスにて三清洞へ。 歴史文化散歩①三清洞エリアを散策 します。 夕方、ホテルにチェックイン。 【4連泊】(ソウル泊) □機夕	
2	ソウル (漢陽都城博物館) 【城郭トレイル①】 【歴史文化散歩②】 (貞洞)	午前、●漢陽都城博物館を見学します。見学後、城郭トレイル①東大門～恵化門コースを歩きます。(約2.3km、1時間30分) 昼食は、漢方参鶏湯をお召し上がりください。 午後、 歴史文化散歩②貞洞エリア を散策します。。	(ソウル泊) 朝昼夕
3	ソウル (清溪川、昌徳宮)	ご希望の方は、 昌徳宮の素顔に出会う朝のぶらぶら散策 へご案内します。 午前、ソウルの中心を流れる清溪川沿いを散策。 午後、 昌徳宮と秘苑 にご案内。 夕食は、 南北合意を成し遂げた歴史的な場所でもある「三清閣」にて韓定食をご用意 しました。	(ソウル泊) 朝昼夕
4	ソウル 【城郭トレイル②】	午前、城郭トレイル②臥龍公園～彰義門コース(約2.7km、2時間30分)を歩きます。 午後、自由行動。	(ソウル泊) 朝昼夕
5	ソウル09:00発→仁川15:50発→神戸空港17:30着	午前、●国立中央博物館へご案内。 夕刻、航空機にて帰国の途へ。 神戸空港到着後、解散。	朝□機

○お食事に関して:軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等の食事となる場合もございます。

■最少催行人員:10名様 ■食事:朝食4回、昼食3回、夕食4回 ■添乗員:神戸空港ご出発時から神戸空港ご到着まで同行いたします。 ■パスポート必要残存有効期間:帰国時3か月以上 ■パスポート査証未使用欄:1ページ以上必要

ご宿泊ホテル

■ソウル：ゴールデン・ソウル・ホテル

※バス搭付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

数々の重要な会議が行われてきた歴史的な場所

「三清閣」にて夕食を

1972年の南北共同声明の晩餐のために作られ、それ以降も国賓をもてなしてきた「三清閣」。現在では韓国の伝統文化を体験できる空間となっています。その歴史的な場所での夕食をご用意しました。北岳山の中腹にある自然に囲まれた敷地内にてゆっくりと食事のひと時をお過ごしください。



重要な会議が行われてきた三清閣

サンセバスチャンに3連泊

スペイン&フランス バスク巡歴の旅

9日間



サンセバスチャン旧市街を歩けばたくさんのバルが並ぶ様子に驚くことでしょう

ここに注目。旅のポイント

3連泊でゆったり過ごす

スペインバスクの美都サンセバスチャン

スペイン側、フランス側から余すことなく味わう今回の旅。スペイン側のハイライト、サンセバスチャンに3連泊。美しいコンチャ湾沿いの遊歩道を歩けば旧市街に到着。シェフも訪れる町の市場もご覧いただき、夕方からは美食の都にふさわしく、バル巡

りが旅の楽しみのひとつ。カウンターに並ぶ色鮮やかなピンチョスは見ているだけでも心が踊ります。バルごとに異なる「自慢の一品」を味わいながら、数軒を巡る“はしご”スタイルが定番です。ご希望の方は、添乗員がおすすめのバル巡りへとご案内します。



モンテ・イゲルドの丘から望むコンチャ湾沿いに広がるサンセバスチャンの町並み(イメージ)



中世から巡礼の中継地や貿易の町として栄えました(イメージ)



旧市街を歩けばたくさんのバルが並ぶ様子に驚くことでしょう



個性や名物があるのもバルの楽しさです(イメージ)



名物のピンチョスをぜひご賞味ください(イメージ)



ツアープランナーより

スペインとフランスにまたがるバスク地方は、中世より自治権を守り、バスク語を保ち続け、独自に文化を育んできました。スペインあるいはフランスであることより、人々にとってこの地は「バスク」であり、それこそが彼らの誇りなのです。美食の地としても近年注目が高まる中心都市サンセバスチャンに3連泊し、旧市街に軒を連ねるバルなど、世界を席卷した独特の食文化を存分にお楽しみいただきます。 また、今年からフランス側の中心都市バイヨンヌで連泊し、フランス側サンチャゴ巡礼路の終着点の町やフランスの美しい村のひとつ、アイノア村に加え、スペイン側では芸術の町として進化するビルバオ、新旧2つの顔を見せるバスクの町など、こだわりの内容でご案内するバスク地方の旅へぜひお出かけください。

フレンチバスクの美しい町や村を訪ねます

スペインとフランス、両国に同じ文化圏としてまたがるバスク地方。フランス側バスク地方にも魅力的な町々が点在しています。フランス側バスクの町々も時間をとってご案内したく、フランス側の町バイヨンヌで連泊し、山間に佇むフレンチバスクの魅力ある村々へご案内いたし

ます。サンチャゴ巡礼路フランス側の終着点サン・ジャン・ピエ・ド・ポーは、中世の雰囲気の色濃く残り、今も巡礼手帳をもった巡礼者も目にします。また、フランスの最も美しい村にも加盟しており、17世紀の赤と白の伝統的なバスク建築が並ぶアイノアの村も訪れます。



山間の村 サン・ジャン・ピエ・ド・ポー



伝統的なバスク建築が並ぶアイノア

バスクの歴史を今に伝えるゲルニカや

進化するビルバオの町も訪ねます

ビルバオの東20キロ、ドイツ軍の空爆により廃墟と化しピカソの絵画「ゲルニカ」でも有名な町。「ゲルニカの木」と呼ばれる一本残った樫の木こそがバスク人の誇りであり、自治の象徴です。バスク議事堂の敷地内にあり、

議事堂内の天井のステンドグラスにもこの木が描かれています。また、鉄鋼の町から衰退していた町から芸術の町として見事に復興を遂げたビルバオの町にも宿泊。その象徴的なグッゲンハイム美術館も見学いたします。



グッゲンハイム美術館



バスク民族の自治と独立の象徴ゲルニカの木



ゲルニカの木が描かれたバスク議事堂の内部

仏的な歴史香る町にバスク文化が融合したバイヨンヌ

ニーヴ川とアドゥール川の合流点に位置するバイヨンヌは、交易の中心的な役割も果たし、フランスバスク地方の中心的な町。世界遺産の14世紀ゴシック様式のサント・マリー大聖堂が町のシンボル。いかにも歴史を感じる町の風情は他のバスク地方とは一

線を画します。中世のフランス的な町並みの中に、16世紀から続くチョコレート職人の伝統、赤と白の木組みのバスク風建築があったりと町歩きもとても楽しい町。自由行動のお時間もありますので、気ままに散策を楽しんでみてはいかがでしょうか。



世界遺産サント・マリー大聖堂



独特の色合いのバスク建築が並ぶバイヨンヌ

利用予定航空会社：ターキッシュエアラインズ		ツアーコード：EU400Q	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【関西空港集合・9日間】 2026年 3月19日(木)		エコノミークラス利用 ¥608,000	ビジネスクラス利用 ¥1,188,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥80,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：全区間（関西空港～イスタンブール～ビルバオ間往復）に適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥62,500：8月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	関西空港22：50発	深夜、関西空港より、航空機にてイスタンブールへ。	(機中泊) □□機
2	イスタンブール05：40着 イスタンブール08：40発 ビルバオ11：00着 バイヨンヌ17：00着	航空機を乗り換え、ビルバオへ。 着後、世界最古の運搬橋、 岡○ビスカヤ橋 へ。 その後、フレンチ・バスクの中心都市バイヨンヌへ。 【2連泊】(バイヨンヌ泊) 機□夕	
3	バイヨンヌ	午前、バイヨンヌの観光。バイヨンヌの象徴、 岡●サント・マリー大聖堂 を見学。フランスのチョコレート発祥の地/バイヨンヌで老舗のチョコレート屋さんなどご案内します。 午後、自由行動。 ご希望の方は、列車にてサンジャンドリユズにご案内します。 (バイヨンヌ泊) 朝昼□	
4	バイヨンヌ09：00着 サン・ジャン・ピエ・ド・ポー アイノア サンセバスチャン	本日は山間のフランスバスクの町々へ。 午前、サンチャゴ巡礼路フランス側の終着点、 サン・ジャン・ピエ・ド・ポー へ。中世の雰囲気を残す旧市街の散策へご案内します。 その後、「フランスの最も美しい村」協会に加盟している アイノア村 に立ち寄ります。 その後、スペインに入り、サンセバスチャンへ。 【3連泊】(サンセバスチャン泊) 朝昼夕	
5	サンセバスチャン (モンテ・イゲルドの丘、ゲタリア)	午前、コンチャ湾を見下ろす モンテ・イゲルドの丘 へ。サンセバスチャンの美しい海岸線と町並みを高台からご覧いただけます。 その後、港町ゲタリアにて昼食。昼食には 海バスクの名物シーフードの炭火焼 をご用意しました。 午後、サンセバスチャンへ戻り、旧市街を中心とした観光へ。 ○ プレチャ市場 、● 大聖堂 、● サント・マリア・デル・コロ教会 、○ 憲法広場 などご案内します。 夜、ご希望の方はバル巡りへご案内します。 (サンセバスチャン泊) 朝昼□	
6	サンセバスチャン	サンセバスチャンにて終日、自由行動です。ゆっくりとお過ごしください。 (サンセバスチャン泊) 朝□□	
7	サンセバスチャン09：00着 ゲルニカ ビルバオ14：30着	午前、 ピカソの描いた「ゲルニカ」の舞台、ゲルニカの町 へ。● バスク議事堂 (注)と○ ゲルニカの木 、○ ゲルニカの壁画 などご案内します。 午後、ビルバオへ。ビルバオのシンボルであり巨匠フランク・ゲイリー設計の● グッゲンハイム美術館 へ。 (ビルバオ泊) 朝昼夕	
8	ビルバオ17：10発 イスタンブール23：15着	午前、自由行動。 午後、ビルバオ空港へ。	(機中泊) 朝□機
9	イスタンブール02：00発 関西空港18：55着	着後、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 夜、関西空港に到着後、解散。	機機□

(注)バスク議事堂は議会開催時など議事堂側の都合により入場できない場合がございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食4回、夕食3回 ■添乗員：関西空港ご出発時から関西空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：帰国時150日以上 ■バスポート査証未使用欄：見開き1ページ以上

ご宿泊ホテル

サンセバスチャンでの3連泊は、散策に便利な立地で、料理に定評のあるレストランが入るホテルでの宿泊です

■ サンセバスチャン：ホテル・アルバン

大聖堂やコンチャ湾、そして、バルが建ち並ぶ旧市街までも徒歩圏内の散策に便利な立地のホテル。ホテル内には有名グルメ雑誌にも紹介されるレストラン「NARRU」が入っており、バル巡りをしない時は、ホテルでの夕食もご用意しております。



シックな内装のレストラン「NARRU」



シックな雰囲気のロビー

- バイヨンヌ：ホテル・ヴィラ・コエギ・バイヨンヌ
バイヨンヌの中心部に建つモダンなホテルです。
- ビルバオ：バルセロ・ビルバオ・ネルビオン

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

8つの世界遺産を訪ねる

チュニジア周遊の旅 12日間



シディ・ブ・サイド 町にはお土産を売るお店などが軒を連ねています

ツアープランナーより

チュニジアはカルタゴ時代から連綿と続く歴史を伝える遺跡や、地中海沿いの町々と多くの魅力に溢れています。フェニキア人により建設されたカルタゴの時代に始まり、古代ローマやイスラム、フランスと多くの民族がこの地の覇権を握ってきました。それぞれの時代や文化を物語る遺跡や町並みが、現在のチュニジアの各地によく残されており、それが多面的な魅力を生み出す様はまさにモザイクの国と言えるでしょう。このたびは、チュニジアの8つの世界遺産を訪ねるだけでなく、サハラ砂漠にあるベルベル人のテント風ホテルにも宿泊します。また、新たに世界遺産に登録されたジェルバ島にも足を延ばし、様々な文化と人々が共存している暮らしぶりもご覧いただきます。

クサル・ギレンに宿泊し、砂漠体験を楽しみます



「赤い砂漠」と称されるクサル・ギレン周辺の砂漠。ここにベドウィンのテントを模した客室を持つホテルがあります。砂漠での宿泊は、非日常を経験させてくれる絶好の場です。朝夕の光景も美しいですが、天候が許せば星空もご覧いただけるでしょう。

(注)テントホテルの性質上、隙間風が入る、暖房が効きづらい、湯の出が悪い、すぐ電球が切れる、などの問題が起こりやすい傾向がありますので、予めお含みください。また、客室内にシャワーや暖房はありますが、念のため、温かい寝具をご持参ください。



青と白のコントラストが印象的な
シディ・ブ・サイド

地中海に面し、チュニジアンブルーの窓枠と白壁の家々が続く町並みが印象的なシディ・ブ・サイド。どこかヨーロッパ的な雰囲気が漂う旧市街には色鮮やかな陶器や人形を売るお店などが建ち並び、のぞき見ながら散策をするのが楽しい町です。

ここに注目。旅のポイント

チュニジアに点在する世界遺産の数々を訪ねます

ローマ遺跡からイスラムの薫り、植民地時代の面影、サハラ砂漠の大自然など、多岐に及ぶ見どころが点在している国チュニジア。アフリカに存在している国の中でも国土面積が小さいゆえに、長距離移動が少なく、そして、効率良く巡ることができます。長年ツアーを催行してきた弊社ならではのルート取りで、無理なくじっくりとご案内します。時代によって支配勢力が異なるモザイクのように複雑で細やかな歴史に思いを馳せながら、魅力的な国チュニジアを周遊します。

①チュニスの旧市街

チュニジアの首都チュニス。アフリカ、イスラム、ヨーロッパ文化が交差するこの町。旧市街は7世紀に建設が始まり、アラブ・イスラム様式の都市計画が今もそのまま残っています。



イスラムの商業都市として発展したチュニスの旧市街(イメージ)

②ケルクアン遺跡

北東チュニジアのボン岬近くにあるカルタゴの都市遺跡。ローマ人に再建されなかったため、紀元前4世紀

～紀元前3世紀の古代カルタゴの姿を伝える貴重な遺跡となっています。



住居内には浴槽やモザイクタイルがみられます

③カルタゴ遺跡

チュニジアの歴史が始まった地とも言える場所がカルタゴです。紀元前814年にフェニキア人によって建設され、後にローマ帝国に匹敵するほどの力を持ちましたが、紀元前146年第三次ポエニ戦争でローマに敗

れ、滅亡しました。現在残る遺跡はカルタゴ滅亡後にローマが造ったものです。



ビュルサの丘からは地中海が望めます

④スースの旧市街

フェニキア人によって紀元前9世紀に建設された町です。現在の旧市街の大部分は北アフリカにイスラム勢力が進出してきた9世紀頃のもの。グランド・モスクをはじめとする歴史的建造物や伝統的な町並みが良く残っています。



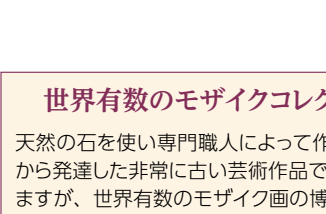
散策が楽しい旧市街(添乗員撮影)

⑤ジェルバ島

オデュッセウスも流れ着いたというジェルバ島は、2023年に登録されたばかりの世界遺産です。リゾート地としての意味合いもあり、ヨーロッパの人々はパカンスで訪れます。しかし、その歴史は深く、約2500年前にエルサレム神殿が破壊された時に難を逃れてやってきたユダヤ最古級のディアスポラ・コミュニティがあり、イスラム教徒やベルベル人らと共生する興味深い地です。



ユダヤ教徒の聖地であり、巡礼者も訪れます



ドゥッガのシンボル「キャピトル」(3神を祀る神殿)

世界有数のモザイクコレクションを誇る バルドー博物館

天然の石を使い専門職人によって作られたモザイク画は、紀元前2500年頃から発達した非常に古い芸術作品で、様々な場所で作品に触れる機会がありますが、世界有数のモザイク画の博物館と称されるのがチュニスの「バルドー博物館」です。写実的で躍動感があり、生命力に溢れているローマ時代のモザイクを中心に、館内のそこかしこに実に質の高いモザイクが展示され、神話の物語や日常生活、動植物などが鮮やかに描かれています。2021年より閉館していた北アフリカ有数の博物館が2023年より再オープンし、再開後も多くの来館者を魅了し続けています。

⑥エル・ジェムの円形闘技場

ローマのコロッセオに匹敵する巨大な円形闘技場。保存状態の良さは世界屈指で、アフリカでも最も印象的なローマ遺跡と言われます。(写真提供:チュニジア大使館)



縦149m、横124mは、チュニジア最大規模(イメージ)

⑦カイラワン

西暦670年頃に町の建設が始まり、9～10世紀には北アフリカのアラブ人王朝の首都となり、北アフリカにおけるイスラムの最も重要な聖地のひとつとして知られています。その中心となる大モスクは、ウマイヤ朝時代に創建された貴重なイスラム建築です。



ウマイヤ朝時代の大モスク(イメージ)

⑧ドゥッガ遺跡

チュニジア北部のローマ遺跡。もともとベルベル人の王国ヌミディアの重要な都市で、紀元前46年にローマの支配下に入りました。北アフリカ屈指の規模のローマ遺跡で、町そのものが残る保存状態の良さには目を見張ります。



ドゥッガのシンボル「キャピトル」(3神を祀る神殿)

利用予定航空会社：エールフランス航空、KLM オランダ航空		ツアーコード：FN143Q	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【関西空港集合・12日間】 2026年 1月12日(月)		エコノミークラス利用 ¥398,000	ビジネスクラス利用 ¥978,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥60,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間のみ適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥66,100：8月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	関西空港12:25発→パリ19:20着 20:55発→チュニス23:20着	午後、航空機にてパリへ。航空機を乗り換えチュニジアの首都チュニスへ。着後、ホテルへ。 【2連泊】(チュニス近郊ラマルサ泊) ☐ 機機	
2	チュニス (ケルクアン)	午前、 ☒ チュニス旧市街の観光。○グランド・モスクやスーク(市場)散策にご案内します。午後、バスにてボン岬の ☒ ケルクアンへ。着後、 ☒ フェニキア人の遺跡を観光します。 (チュニス近郊ラマルサ泊) 朝昼夕	
3	チュニス09:00発→カルタゴ→スース16:30着	午前、 ☒ シディ・ブ・サイド、 ☒ カルタゴ遺跡の○アントニヌスの共同浴場などをご覧ください。タ刻、ホテルにチェックイン。 (スース泊) 朝昼夕	
4	スース08:00発→ジェルバ島17:30着	午前、 ☒ スース旧市街を散策。午後、バスは南部の ☒ ジェルバ島を目指します。タ刻、ホテルにチェックイン。 【2連泊】(ジェルバ島泊) 朝昼夕	
5	ジェルバ島	午前、 ☒ フームスークの散策や●ラ・グリバのシナゴーク、●民族博物館を見学。午後はホテルでゆっくりとお過ごしください。 (ジェルバ島泊) 朝昼夕	
6	ジェルバ島08:00発→クサル・ギレン17:00着	午前、バスにてサハラ砂漠方面へ南下します。午後、4WDに分乗し、 ☒ サハラ砂漠のクサル・ギレンへ(注)。ご宿泊はテント式ホテルです。 (クサル・ギレン泊) 朝昼夕	
7	クサル・ギレン08:00発→カイラワン17:00着	午前、4WD分乗し、サハラ砂漠を北上します。その後、バスにてカイラワンを目指します。 【2連泊】(カイラワン泊) 朝昼夕	
8	カイラワン (エル・ジェム)	終日、 ☒ エル・ジェムを訪ね、 ☒ 円形闘技場や●エル・ジェム博物館を訪れます。 (カイラワン泊) 朝昼夕	
9	カイラワン13:00発→ドゥッガ遺跡近郊テブルスーク16:30着	午前、 ☒ カイラワンの観光。○グランド・モスクや○シディ・サハブ霊廟などを訪れます。その後、バスにてテブルスークへ。 (ドゥッガ遺跡近郊テブルスーク泊) 朝昼夕	
10	ドゥッガ13:00発→チュニス16:00着	午前、● ☒ ドゥッガ遺跡の観光。その後、バスにてチュニスへ。午後、2023年に再オープンした● ☒ バルドー博物館へご案内します。タ刻、ホテルにチェックイン。 (チュニス泊) 朝昼夕	
11	チュニス05:30発→パリ08:10着 13:30発→	早朝、航空機にてパリへ。着後、航空機を乗り換え帰国の途へ。 (機中泊) 機機	
12	関西空港10:45着	午前、関西空港に到着後、解散。 機機	

日程表の時刻は関西空港発着のエールフランス航空の利用を想定したものです。他の航空会社を利用した場合、時刻、日程が異なります。
(注)クサル・ギレンのホテルへは4WDに分乗して行くため、大きなスーツケースはお持ちいただけません。つきましては、クサル・ギレンに向かう日は、リュックサックやポストンバッグなどに、1泊2日分のお荷物を入れてお持ちいただくよう、お願いいたします。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員:10名様 ■食事朝食9回、昼食9回、夕食9回 ■添乗員:関西空港ご出発時から関西空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間:出国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄:2ページ以上必要

ご宿泊ホテル

- チュニス近郊ラマルサ：エル・ムラディ・ガマルタ
- スース：モーベンピック・リゾート & マリンスパ・スース
- ジェルバ島：ホテル・センティド・ジェルバ・ビーチまたはヤディス・ジェルバ・タラン&スパまたはイベロスター・ウェーブス・メハリ・ジェルバ
- クサル・ギレン：パンシー
サハラ砂漠のオアシスに位置するテントスタイルのホテル。雄大なサハラ砂漠までも歩いてすぐ。感動的な朝日、夕陽はもとより、美しい星空をお楽しみいただけるかもしれません。
※客室にはトイレ・シャワー、エアコンも完備されていますが、テントスタイルの性質上、隙間風が入る、暖房が効きづらい、湯の出が悪い、すぐ電球が切れる、などの問題が起こりやすい傾向がありますので、予めお含みください。温かい寝具をご持参ください。
- カイラワン：ホテル・ラ・カスバ
- ドゥッガ遺跡近郊テブルスーク：ホテル・トゥッガ
田舎のホテルの為、設備は簡素になります。
- チュニス：エル・ムラディ・アフリカ

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

ノスタルジックな古都の郷愁と地方に暮らす人々の笑顔に心沸き立つ

北方の薔薇チェンマイと「黄金の三角地帯」の旅 8日間



チェンマイを代表する古刹ワット・プラシン寺院

ここに注目。旅のポイント

スローな時間とラーンナー王朝文化が息づく、 「北方の薔薇」古都チェンマイ

13世紀末以来、ラーンナー朝の都として栄えたタイ北部最大の都市ながら、豊かな自然に囲まれたのどかな空気が旅人を包み込む古都チェンマイ。バンコクのような喧騒とは一線を画した、文化、自然、人々の温かさに触れられる、タイ本来の心が宿る、タイの真髄が息づく町と

いいでしょう。今も堀と城壁が残る旧市街には歴史ある寺院が点在し、タイ手工芸の都と称されるように、ニマンヘミン通りやサンカンペーンには、傘絵、銀細工、陶器など伝統工芸の工房やショップ、アートギャラリーが軒を連ね、北部独自の食材や料理が並ぶローカル市場か

らお洒落なカフェまで、食の多様性と奥深さで知られるチェンマイでは、まさに「北方の薔薇」と称される際に、ニマンヘミン通りやサンカンペーンには、傘絵、銀細工、陶器など伝統工芸の工房やショップ、アートギャラリーが軒を連ね、北部独自の食材や料理が並ぶローカル市場か



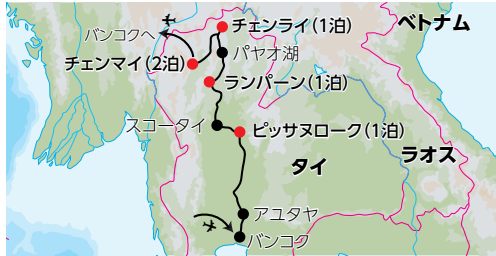
活気あふれるナイトマーケット（イメージ）
©Nicolai Bangsgaard



手作業の繊細さが生み出すチェンマイの優美な伝統傘（イメージ）

ツアープランナーより

どこか京都に似ている「北方の薔薇」チェンマイ。タイ北部の山岳地帯に1939年迄、613年の長きに亘り、ラーンナータイ王朝の王都として君臨した街。四方を堀に囲まれた旧市街を歩けば、幾つもの寺院、古建築、そして博物館、工芸品のブティックやお洒落なカフェなど、今昔の様々な文化の薫りと出会えます。さらに北の古都チェンライからは、かつてはケシ栽培を主産業としていたラオス、ミャンマー、タイの三国の国境「黄金の三角地帯」で、雄大な大メコンの流れに身を任せ、タイ王国の歴史の主舞台であったスコータイ、アユタヤでは、栄枯盛衰を偲びましょう。各地の快適なホテル滞在、そして地方独自の郷土料理や、バンコクではジム Thompson・ハウスでの本格的なタイ料理に舌鼓。ノスタルジックな歴史深い街々の郷愁に浸りながら、同時に現代タイのローカルに暮らす人々の笑顔に心沸き立つ、そんな深みのある旅を目指してお創りました。



三国が交わる国境の絶景 「黄金の三角地帯 (ゴールデン・トライアングル)」

タイ北部の丘陵地帯を流れるメコン川と、ミャンマーからの支流ルアック川の合流地点。ここがタイ、ラオス、ミャンマー 3国の国境が交わる「黄金の三角地帯(ゴールデン・トライアングル)」です。かつてはアヘン交易の中心地として知られていましたが、現在は歴史と文化、壮大な自然が共存する絶景の観光地となっています。国境の交差点という地理的な特徴と、そこで育まれた歴史や文化を肌で感じられる場所です。ツアーでは大自然に溶け込むメコン川クルーズで訪ねます。



手前がタイ、右手メコン川の対岸がラオス、左手アック川の対岸がミャンマー

日本とシャムの親善架け橋となった、 山田長政ゆかりの古都アユタヤ

1351年に建都され、1767年ビルマ軍に滅ぼされるまで400年にわたりシャム王国(アユタヤ朝)の都として栄えた世界遺産の古都アユタヤ。とりわけ江戸初期の時代にシャムで活躍し、日本とシャムの架け橋となった山田長政ゆかりの地であることは広く知られています。(日本人町跡にブロンズ像あり) 歴史遺産公園での優美なアユタヤ様式の仏教美術、悠久の時を刻む仏塔や寺院群の遺構が見どころです。



スペイン無敵艦隊を撃破、オランダ東インド会社も崩散し、シャム王に重用された、日本人町の頭領、山田長政

タイ文明の原点、 タイ初となる独立王朝の都スコータイ

13世紀前半にタイ初の独立王朝が誕生した地、スコータイ。「スコータイ」の意味は、「幸福な夜明け」を表し、モン族やクメール族の支配から脱したこの王朝時代に、現在に続くタイの言語、仏教、文化の基礎が形作られ、その後のタイ王国の精神的、文化的な原点となりました。その史跡が点在する「スコータイ歴史公園」(世界遺産)では、今も静かに時が流

れ、私たちを悠久の歴史に誘います。



タイの源流となる史跡が点在する世界遺産「スコータイ歴史公園」

静寂と芸術が響きあう、 タイ北部最古の王都チェンライ

ラーンナー王朝発祥の地であり、チェンマイに遷都されるまで王都であったチェンライ。タイ北部の中でも素朴で静かな空気に包まれた町ながら、王都の歴史が培った深い文化や、他にはない神秘的、幻想的な芸術寺院が見られる穴場的な存在です。タイ北部山岳民族の村々や黄金の三角地帯(ゴールデン・トライアングル)への起点ともなるチェンマイ

は、タイ北部らしさを凝縮した魅力が満載です。



幻想的な芸術寺院が点在する古都チェンライ

民族舞踊と共に楽しむ、 タイ北部伝統のカントーク料理(宴席料理)

カンとは鉢(ボウル)、トークは円形。直訳すると、「小さな丸テーブルに載せて供する料理」です。チェンマイ周辺を中心に、ラーンナー文化に根付いたタイ北部の伝統的なおもてなし料理のスタイルで、丸いカントークの上に小鉢で数種類の料理を並べ、みんなで囲んで座って食べるこのスタイルは、冠婚葬祭や特別な来賓の歓迎の宴で提供されてきた歴史ある宴席料理です。今回はチェンマイにて、優雅なラーンナー舞踊(宮廷舞踊)を楽しみながらのカントークディナーをご用意しました。



タイ北部の心を表す伝統的なおもてなし料理「カントーク」(イメージ)

利用予定航空会社：日本航空		ツアーコード：SC133Q	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【関西空港集合・8日間】 2026年 3月2日(月)		エコノミークラス利用 ¥338,000	ビジネスクラス利用 ¥618,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥40,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：関西空港～バンコク間往復			
燃油サーチャージ別途目安：¥21,000 / 8月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	関西空港	22:00集合	夜、関西空港にご集合。 (機中泊) □□□
2	関西空港00:45発→バンコク05:00着 アユタヤ アランイク・ナイフ村 アーントーン ピッサヌローク18:00着	深夜、関西空港より、 日本航空直行便 にてバンコクへ。着後、バスにて北上し、 シャム王国の旧都アユタヤ へ。午前、アユタヤ王朝時代に建立の ●王室守護寺院 を参観。その後、鍛冶屋、金銀細工職人の故郷として長い歴史を持つ アランイク・ナイフ村 、アーントーンの ●高床式木造建築 を訪ね、 伝統工芸のタイ人形作り を見学。午後、ピッサヌロークへ。 (ピッサヌローク泊) 機昼夕	
3	ピッサヌローク10:00着 スコータイ ランパーン16:30着	午前、 シャム王国最初の都スコータイ へ。 國王都遺跡 ○ スコータイ歴史公園 を見学します。午後、 陶器の里ランパーン へ。 ●陶器工房 の見学、ランパーン名物の伝統花電車乗車体験もお楽しみください。 (ランパーン泊) 朝昼夕	
4	ランパーン08:00発 パヤオ湖 チェンライ13:00着	早朝、地元寺院を訪ね、 人々が僧侶に食べものを寄進して祝福を受ける「功德」 の様子を見学します。午前、 13世紀ラーンナー王国の都チェンライ へ。途中、絵のように美しい パヤオ湖 に立ち寄ります。午後、古都チェンライの観光。 旧市街を散策し 、エメラルド仏の故郷 ●ワット・プラケオ 、14世紀創建の ●ワット・プラシン を参観します。 (チェンライ泊) 朝昼夕	
5	チェンライ 【黄金の三角地帯】 (メコン川クルーズ) チェンライ14:00発 チェンマイ18:00着 【伝統カントークディナー】	朝、 タイ、ミャンマー、ラオス三国の国境が交差する「黄金の三角地帯(ゴールデン・トライアングル)」 へ。雄大な自然景観に抱かれた メコン川 のショートクルーズ(45分)にて国境交差ポイントを訪ね、その後、バスにてラオス国境に近い 河畔の町チェンセーン に立ち寄ります。午後、13世紀末より500年にわたりラーンナー王国の都として君臨した 古都チェンマイ へ。夕食は、優雅な ラーンナー舞踊 を楽しみながら、 伝統カントーク料理 をご用意しました。 【2連泊】(チェンマイ泊) 朝昼夕	
6	チェンマイ (サタデーマーケット)	午前、色鮮やかな花苑が広がる ○オーキッドファーム を訪問。その後、かつての王妃の邸宅を利用した ●ドラピロム宮殿博物館(チュラロンコン大学) を参観します。午後は自由行動。古い寺院などが残る、堀に囲まれた旧市街の散策をお楽しみください。毎週土曜日の夕刻からは賑やかな サタデーマーケット が開催されます。 (チェンマイ泊) 朝□夕	
7	チェンマイ 午後発 バンコク午後着 (ジム Thompson の家)	午後、国内線にてバンコクへ。着後、 ●ジム Thompson の邸宅(博物館) を訪ねます。夕食は、かつての タイシルク王の邸宅「ジム Thompson の家」 にて、本格的なタイ料理を愉しみます。その後、バスにてバンコク空港へ。 (機中泊) 朝□夕	
8	バンコク00:55発→関西空港08:10着	深夜、バンコクより 日本航空直行便 にて、帰国の途へ。朝、関西空港に到着後、解散。 機□□	

○お食事に関して:軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特徴、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意	
■最少催行人員:10名様	■食事:朝食5回、昼食4回、夕食6回
■添乗員:関西空港ご出発時から関西空港ご到着時まで同行します。	■バスポート必要残存有効期間:入国時6か月以上
■バスポート査証未使用欄:2ページ以上必要	

ご宿泊ホテル

■ チェンマイ :

センタラ・リバーサイド・ホテル・チェンマイ

名前の通りピン川に面したモダンなホテルです。45平米のゆったりとした客室は、大きな窓が設けられ、居ながらに景観を楽しめます。

■ ピッサヌローク : トップランド・ホテル

■ ランパーン : ランパーン・リバー・ロッジ ※シャワーのみとなります。

■ チェンライ : ウィアン・イン・ホテル ※シャワーのみとなります。

※バス付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

王室御用達リゾート地でのゆったり時間に癒されて 海と森で寛ぐ 優雅な王室リゾート地と クワイ川の旅 8日間



クウェー（クワイ）ノイ川に沿って断崖絶壁に架けられた木造高架橋「アルヒル栈道橋」（イメージ）

ここに注目。旅のポイント

絶景の歴史遺産「泰緬（タイ・ビルマ）鉄道」に乗車。

名画「戦場にかける橋」の舞台「クワイ川鉄橋」、断崖絶壁の木造高架橋「アルヒル栈道橋」を渡ります

タイからビルマへ、第二次大戦時に日本軍が軍需物資輸送のために建設した全長415キロの「泰緬（タイ・ビルマ）鉄道」。過酷な自然（山岳、森林、河川）を貫く突貫工事での鉄道敷設において、多くの捕虜やアジア人労働者の命が犠牲になったことから、「死の鉄道」とも呼ばれました。この泰緬鉄道は現在もタイ側で一日3便が運行され、特にカンチャナブリー～ナムトック間（約130キロ）は圧巻の景勝鉄道として世界中の鉄道ファン垂涎の人気ルートとなっています。この度は、ハイライト区間となるカンチャナブリー～タム・クラサー区間（約1時間10分）に乗車し、アカデミー賞受賞の往年の名画「戦場にかける橋」（1957年）の舞台「クワイ川鉄橋」、さらに、クウェーノイ川沿いの断崖絶壁に架かるスリル満点の木造高架橋「アルヒル栈道橋（タム・クラサー橋）」をゆっくりと渡ります。

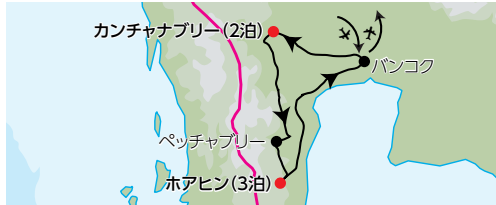


アカデミー賞受賞の往年の名画「戦場にかける橋」（1957年）の舞台、歴史的遺産「クワイ川鉄橋」を渡ります



ツアープランナーより

ホアヒン（石の頭）。その名の通り、岩が多いビーチは、ジェットボートなどは禁じられていて、パタヤやプーケットのような若者やファミリーが押し寄せるビーチリゾートとは随分違う雰囲気。それは、1910年代から王族の別荘地として発展し、ビーチ沿いや丘の上にロイヤルパレスが点在する格式高い場所だからでしょう。ホアヒンの北、ベッチャブリーのカオワンの丘（聖なる丘）には、19世紀、ラーマ4世の建てた離宮や仏塔が、今は一部が博物館として公開され、ハイライトスポットになっています。ここからの街と海の美しい眺めも素晴らしいものです。旅の前半は、クワイ川に面したヤシ林に佇むホテルに泊まりながら、近郊の森の国立公園の自然美、そして、名画「戦場にかける橋」（1957年）の舞台、泰緬鉄道に乗車してのプログラムを、ホテルライフと共にゆったり楽しめます。目に前に、あの有名な「クワイ川鉄橋」が広がる絶好立地のリゾートホテルを選びました。フィナーレは、ジムトンプソン・ハウス（バンコク）での本格的なタイ料理で締めくくります。



タイ王室に愛された、気品ある「海辺の避暑地」
ホアヒンにゆったり3泊

1920年代の鉄道開通とともに、王室関係者や上流階級の別荘地として発展してきた歴史を持つ海辺の街ホアヒン。ローカルな佇まいの中に西洋建築が融合した独特の町並みに王室ゆかりの落ち着いた風格をあわせ持つ上品な「大人の楽園」として、タイでは富裕層の週末リゾートとして人気を集めています。海に近いホテルでの3連泊中に、王室ゆかりのマルカッターイヤワン宮殿（イタリア人設計）の参観や、ワイナリーでの

おしゃれなランチタイムなどを組み込みました。ホテルから4キロ強のホアヒンの町へは、自由行動日に、ご希望の方をバスでご案内します。



土着文化と西洋文化が融合したホアヒン中心部の街並み（イメージ） © タイ政府観光庁



ひときわ目につくタイ王室専用の待合室（ホアヒン駅）（イメージ） © タイ政府観光庁

タイ王国の多様な文化を伝える壮麗な「カオ・ワンの丘」（プラナコーンキリ歴史公園）

標高92メートルの丘上の3つのピークに広がる、1859年にラーマ4世が建設した夏の離宮「カオ・ワンの丘」。王宮および付属建築群、仏塔、王室寺院などが、タイ、ヨーロッパ、中国の要素を持ち合わせるといった、従来にない洗練された美意識、

文化的多様性が実にユニークな王室の聖なる丘です。麓から頂上へ至るケーブルカーからは、眼下のベッチャブリーの街並みの絶景も広がります。その後は、ドイツ様式で建てられたバーンブン宮殿にもご案内します。



聖なる宮殿が建つ「カオ・ワンの丘」（ベッチャブリー）

ご宿泊ホテル

■ カンチャナブリー：フェリックス・リバー・クワイ・リゾート



クワイ川南岸の約1キロに及ぶ川岸に広がる、約24ヘクタールに及び緑豊かなプライベートガーデンに囲まれた、20棟のタイの伝統建築様式を取り入れた低層パビリオンからなるホテルです。コロニアル様式の落ち着いた客室はゆったり45㎡（スーペリア・ガーデンビュー）。川岸からは、クワイ川に沈む夕日と、歴史あるクワイ川鉄橋の絶景を楽しむことができます。



ホテルの周辺からは「クワイ川鉄橋」を望めます（イメージ）



広々としたスーペリアルーム（イメージ）

■ ホアヒン：アマリ・ホアヒン



タイランド湾に近い、カオ・タキアップの美しい庭園に囲まれた開放的なリゾートホテル。お部屋は、落ち着いたモダンな内装で38㎡のゆったりサイズです（但し、シャワーのみの客室となります）。プールサイドバーやスパがあり、のんびりとホテルライフが楽しめます。※シャワーのみとなります。



開放感のあるデラックスルーム（イメージ）



ロビー

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

利用予定航空会社：日本航空		ツアーコード：SC134Q	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【関西空港集合・8日間】 2026年 1月19日（月）		エコノミークラス利用 ¥345,000	ビジネスクラス利用 ¥625,000
（お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥50,000にて承ります）			
ビジネスクラス利用区間：関西空港～バンコク間往復			
燃油サーチャージ別途目安：¥21,000 / 8月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	関西空港22：00集合	夜、関西空港にご集合。	（機中泊） □□□
2	関西空港00：45発→バンコク05：00着 カンチャナブリー（ワット・タムスア寺院、泰緬鉄道博物館）	深夜、関西空港より、 日本航空直行便 にてバンコクへ。着後、バスにてカンチャナブリーへ。周囲360度の景観が圧巻の 丘上の大寺院●ワット・タムスア を訪ねます。その後、泰緬（タイ・ビルマ）鉄道の歴史を紹介する ●泰緬鉄道博物館 を参観。午後、ホテルにチェックイン。クワイ川に面したヤシの林に佇むホテルにてゆっくりお寛ぎください。 【2連泊】（カンチャナブリー泊） 機 昼 夕	
3	カンチャナブリー08：00発→カンチャナブリー駅 10：30発 （クワイ川鉄橋、アルヒル栈道橋） タム・クラサー駅 11：36着 （サイヨークノイ滝） カンチャナブリー16：30着	午前、 ●アートギャラリー を参観。その後、カンチャナブリー駅より、「 泰緬（タイ・ビルマ）鉄道 」に乗りし、タム・クラサー駅へ。名画「戦場にかける橋（1957年）の舞台「クワイ（クウェー）川鉄橋」を渡り、さらにクワイ（クウェー）ノイ川の断崖絶壁に架かる 絶景の木造高架橋「アルヒル栈道橋」 をゆっくり渡ります。（注1）その後、バスにてサイヨークノイ国立公園の○ サイヨークノイ滝 を訪ねます。夕刻、カンチャナブリーに戻ります。 （カンチャナブリー泊） 朝 昼 夕	
4	カンチャナブリー09：00発 ベッチャブリー（王室ゆかりの聖なる丘） ホアヒン17：00着	午前、バスにて南下し、 ベッチャブリー へ。着後、 ケーブルカー にて、 聖なる「カオ・ワンの丘」、プラナコーンキリ国立歴史公園 を訪れ、王室にまつわる 7つの建物群と仏塔 を巡ります。その後、ドイツ様式の ●バーンブン離宮 に立ち寄り、 歴史あるタイ王室の避暑地ホアヒン へ。 【3連泊】（ホアヒン泊） 朝 昼 夕	
5	ホアヒン（マルカッターイヤワン宮殿、モンズーンパレー・ワイナリー）	午前、近郊の ●マルカッターイヤワン宮殿 を参観。1924年、イタリア人建築家が設計した、エレガントな高床式の夏の離宮です。昼食は、広大なブドウ畑が広がる、「 モンズーンパレー・ワイナリー 」にてご用意しました。 （ホアヒン泊） 朝 昼 夕	
6	ホアヒン	終日、自由行動。ホアヒンにて、ごゆっくりお過ごしください。ご希望の方は、添乗員が専用バスにて風格ある王室専用待合室のあるホアヒン駅や、町の中心部へご案内します。リゾートホテルで過ごすホテルライフなども楽しめます。 （ホアヒン泊） 朝 □ 夕	
7	ホアヒン12：00発 バンコク15：30着 （ジムトンプソンの家）	昼頃、バスにてバンコクへ。着後、 ●ジムトンプソンの邸宅 （博物館）を参観します。夕食は、 かつてのタイシルク王の邸宅「ジムトンプソンの家」 にて、本格的なタイ料理を愉しみます。夕食後、バンコク空港へ。 （機中泊） 朝 □ 夕	
8	バンコク00：55発→関西空港08：10着	深夜、バンコクより 日本航空直行便 にて、帰国の途へ。朝、関西空港に到着後、解散。 機 □ □	

（注1）鉄道の発着時刻は変更となる場合があります。○お食事に関して・軽めのお食事中らしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食5回、昼食4回、夕食6回 ■添乗員：関西空港ご出発時から関西空港ご到着時まで同行します。 ■パスポート必要残存有効期間：入国時6か月以上 ■パスポート査証未使用欄：2ページ以上必要

ジムトンプソン・ハウス Jim Thompson House



「シルク王」ジムの邸宅として建築そのものと美術品、骨董品のコレクションが素晴らしい

季節限定企画

赤い睡蓮の湖と
タイ、ラオス絶景紀行 7日間



メコン川の流れと豊かな自然に囲まれるルアンパバーン（イメージ）

ここに注目。旅のポイント

タイの絶景として紹介される「赤い睡蓮の湖」ノンハン湖

毎年12月から2月上旬まで、タイ東北部のノンハン湖には水面を埋め尽くすように赤い睡蓮の花が咲く絶景が広がります。睡蓮の花が咲く時間は早朝のわずか数時間のみ。静けさが漂う朝の湖上で、徐々に差し込む朝日の光によって睡蓮のつぼみが花開く様子は、幻想的な光景です。12月～2月上旬の花のシーズンに合わせて、ノンハン湖では遊覧ボートが運行され、桃源郷のようなそ

の景色を船上からお楽しみいただくことができます。冬の限られた期間だけの絶景をぜひ、ご堪能ください。（注1）



花咲く湖をボートで遊覧します（イメージ）



赤い睡蓮の湖 ノンハン湖（イメージ） ©comzeal



古都ルアンパバーンでは特に多くの僧侶による壮観な托鉢風景を見ることができます。篤い信仰心を寄せるラオスの人々の祈りの姿が垣間見られる、大変貴重で旅情溢れるシーンです

ツアープランナーより

母なる大河メコンが貫き、周囲を丘陵に囲まれた、東南アジア唯一の内陸国であるラオス。世界各国で開発が進む中でも変わらぬ素朴な暮らしぶり、人々の仏教への敬虔な祈りの風景に、失われつつある「アジアの原風景」を見ることができます。ラオス最大の見どころは、仏閣がひしめく世界遺産の古都ルアンパバーン。2泊の滞在で、名利古刹の巡礼、アジア屈指の規模の托鉢風景や悠久なるメコン川の流れ、夜にがらりと雰囲気を変える賑やかなナイトマーケットとフランスの香り漂うカフェを訪ね、魅力を探訪します。このたびは首都ヴィエンチャンからの日帰り旅行で、タイ北部のノンハン湖も訪問。ラオス三都とタイの絶景、冬季限定の「赤い睡蓮の湖」を一度の旅で巡ります。

仏領時代の面影薫る世界遺産ルアンパバーンに連泊

世界遺産に登録されている古都ルアンパバーン。メコン川に抱かれ、今でも80以上の仏教寺院がひしめく、日本で言えば京都のような古き良き風情が残されています。一方で、フランス領時代のコロニアル建築を利用したおしゃれなカフェやブティックが建ち並び、アジアとフランスの文化が混然一体となった独特の風情を感じさせます。日中の観光はもちろん、早朝の托鉢風景や活気あるナイトマーケットなど、連泊して朝、昼、夜と異なる表情をのんびり満喫して

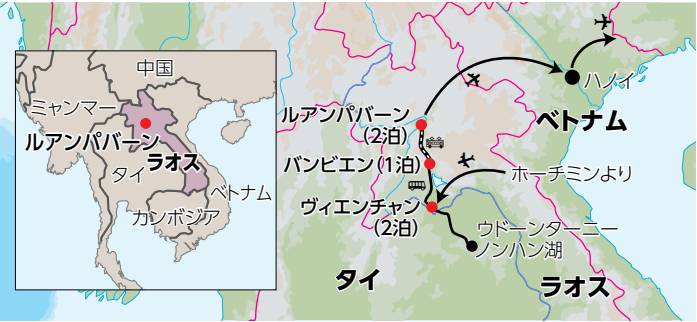
いただきます。宿泊ホテルは、旧市街の中にある「ヴィクトリア・シェントーン・パレス」を選びましたので、自由時間にも素朴なアジアの原風景とフランスコロニアルな風情が交錯する町の風情を十分にお楽しみください。



ナイトマーケットの散策も楽しみです（イメージ）



旧市街にはお洒落なカフェやレストランがいくつも（イメージ）



景勝地バンビエンに宿泊し、林立する奇岩群を楽しみます

ラオスの首都ヴィエンチャンから北に約150キロ、自然に囲まれた田舎町バンビエンにはディープなラオスの魅力があります。ナムソン川の奥に広がる荒々しい稜線の岩山は「ラオスの桂林」と称され、その美しさに魅了されることでしょう。岩壁をくり抜くように形成されたタム・チャン洞窟やナムソン川の清流クルーズなど、ラオスの豊かな自然を満喫していただけます。ナムソン川沿いにある「リバーサイド・ブティック・リゾート」を確保しました。



ゆったりとした時間が流れる川沿いのホテル



奇岩の山容と川の流れ、素朴な家々が一枚の絵のような風景を作り出しています（イメージ）

本格フレンチも味わえるラオスのレストランで舌鼓

かつてフランス領であったことから料理のレベルが高く、現地の食文化と融合したラオ・フレンチが食べられるお店もあります。ルアンパバーンの老舗フレンチレストラン「ル・エレファント」にて昼食をご用意しました。



ル・エレファントでランチを（イメージ）

ラオス仏教の象徴的存在タートルアン寺院を見学

一国の首都とは思えぬほど、穏やかな時の流れる首都ヴィエンチャン。黄金の仏塔タートルアン寺院は、地元の人々で賑わう町のシンボリック存在です。ユーモラスな仏像が独特の宗教世界を作り出しているブッダパークへもご案内します。



タートルアン

ラオスを縦断する大動脈、2021年に開通した鉄道に乗車

バンビエンからは鉄道で世界遺産ルアンパバーンへ向かいます。2021年の鉄道の開通により峠道が回避され、快適な移動が可能となりました。この鉄道は、将来的に中国～シンガポールまでを結ぶ東南アジア縦断鉄道になるといわれています。



ラオス鉄道（イメージ）

利用予定航空会社：ベトナム航空		ツアーコード：SC140Q	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【関西空港集合・7日間】 2026年 1月18日(日)		エコノミークラス利用 ¥398,000	ビジネスクラス利用 ¥698,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥75,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間にのみ適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥28,500／8月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	関西空港10:00発→ ホーチミン13:45着 ホーチミン15:50発→ ヴィエンチャン19:00着	午前、関西空港より航空機にてホーチミンへ。 航空機を乗り換え、アノンベンを経由しラオスのヴィエンチャンへ。 着後、バスにてホテルへ。	【2連泊】(ヴィエンチャン泊) □機夕
2	ヴィエンチャン (ウドーンターニーの ノンハン湖)	早朝、国境を越えタイ北部のウドーンターニーの「赤い睡蓮の湖」と呼ばれるノンハン湖へ。小舟に乗って湖一面が赤く染まる景観を楽しみます。(注1) 午後、メコン川に架かる「タイ・ラオス友好の橋」を通過し、ヴィエンチャンに戻ります。 その後、ヴィエンチャンの観光。様々な仏像が並び独特の景観が楽しめる○ブッダパークの見学へご案内いたします。 夕食は、ラオスの民族舞踊をご覧いただきながらお召し上がりください。	(ヴィエンチャン泊) 朝昼夕
3	ヴィエンチャン09:00発⇒ バンビエン11:00着	午前、●タートルアン寺院の見学。 その後、バスにてバンビエンへ。ハロン湾と並び、東南アジア屈指のカルストの絶景が広がります。 バンビエン着後、ナムソン川のクルーズや○タム・チャン洞窟にご案内します。	宿泊はホテルのプールサイドから絶景がご覧いただける「リバーサイド・ブティック・リゾート」です。(バンビエン泊) 朝昼夕
4	バンビエン10:45発⇒ ルアンパバーン11:49着 (国立博物館、 ワット・シェントーン)	午前、バンビエンより鉄道にてルアンパバーンへ。(注2) ルアンパバーン着後、かつての王宮である●国立博物館と付属寺院○ワット・マイ、ルアンパバーン随一の壮麗な寺院●ワット・シェントーンを見学します。	【2連泊】(ルアンパバーン泊) 朝昼夕
5	ルアンパバーン (バクウー洞窟、 メコン川クルーズ、 サンハイ村)	午前、2500体とも言われる仏像が安置されているバクウー洞窟へ。その後、ボートでメコン川を下り、酒造りで有名なサンハイ村を訪ねます。 午後、クアンシーの滝にご案内します。 夕食後、ご希望の方はナイトマーケットへご案内します。	(ルアンパバーン泊) 朝昼夕
6	ルアンパバーン (托鉢風景) ルアンパバーン19:15発→ ハノイ20:15着	早朝、ルアンパバーンの風物詩である托鉢をご覧いただけます。 托鉢体験することもできます。朝市にもご案内します。 午前、ゆっくりとお過ごしください(客室は12時まで利用できます)。 昼食は、「ラオ・フレンチ」で人気のレストラン「ル・エレファント」にてお召し上がりください。 夜、ルアンパバーン空港より航空機にてハノイへ。	(機中泊) 朝昼□
7	ハノイ01:00発→ 関西空港06:55着	深夜、航空機を乗り換え、帰国の途へ。 朝、関西空港到着。着後、解散。	機□□

日程表の時刻は、関西空港発着のベトナム航空を想定したものです。他の便を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。

○お食事に関して:軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特徴、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

(注1) 一般的な開花時期に合わせて出発日を設定しておりますが、開花時期は気候や気温により左右されることをお含みおきください。気象条件等により見られない場合もございます。(注2) 鉄道の便、発着時刻は変更となる場合がございます。なお、スーツケースなどの大きな荷物は、別途荷物車にてルアンパバーンに運びます。

ご旅行条件とご注意
■最少催行人員:10名様 ■食事:朝食5回、昼食5回、夕食5回 ■添乗員:関西空港ご出発時から関西空港ご到着時まで同行いたします。 ■バスポート必要残存有効期間:帰国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄:見開き2ページ以上必要 ■ラオスの観光許可書申請および鉄道手配のため、お申し込み時にパスポートの顔写真のページのコピーをお預かりいたします。(画像でも可)
ご宿泊ホテル
■ ヴィエンチャン：クラウン・プラザ・ヴィエンチャン ■ バンビエン：リバーサイド・ブティック・リゾート ナムソン川のほとりに佇むリゾートホテルです。 ■ ルアンパバーン：ヴィクトリア・シェントーン・パレス
※バススタッフ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

芭石鉄道・菜の花畑SLと花咲く里へ 四川省春の旅 9日間



芭石鉄道 菜の花が咲き乱れる2月から3月にかけては、チケットの入手が難しくなるほど人気があります(イメージ)

ここに注目。旅のポイント

菜の花が車窓を彩る時期に、 人気のSL「芭石鉄道」に乗車します

楽山近郊には、かわいらしい蒸気機関車「芭石鉄道」が現役で走行しています。開業は1959年。本来は石炭を運搬する鉄道でしたが、長らく道路がなく沿線の住民も、この列車を移動手段として使用していました。現在はよく知られる人気観光鉄道になり、菜の花シーズンの3月はチケットが取りづらいほどです。全長15kmを片道約1時間10分かけて走る、



芭石鉄道に乗車する芭蕉溝鎮は毛沢東の時代から変わらない風景が残されています

のんびりとしたSL小旅行をお楽しみください。



まるで遊園地のミニ鉄道に乗車するかのような駅(イメージ)

世界最大の摩崖仏・楽山大仏は 船に乗って全景もご覧いただけます

3つの川の合流点にある、楽山大仏。当地で塩が採れたことの感謝と治水の願いを込め、8世紀の唐代に約90年の歳月をかけて建立されました。高さ71メートルは奈良の東大寺の大仏の5倍近くあり、世界最大の座像石仏といわれます。柔和な微笑をたたえる顔が印象的です。ツアーではより印象深くご覧いただけるように、仏頭部付近からの迫力ある姿は



遊覧船に乗って楽山大仏の全景もご覧いただけます(イメージ)



ツアープランナーより

ひとつの省だけで日本の国土の1.3倍の広さを誇る四川省には、数々の見どころがあります。今回は、四川省の中でも成都の南部から西部の春らしい訪問地を中心にご案内。世界一の摩崖仏と言われる世界遺産・楽山大仏や、山里を切り拓き現在は中国屈指の人気鉄道となった芭石(はせき)鉄道、谷間に趣あるチベット式住居が点在する丹巴(たんば)と、いずれも目を引く光景が目白押しです。新しく完成した四川省を縦貫する高速道路を利用することで実現するルートで、9日間でこれら3つを一度に訪ねる新企画です。季節は初春。昔懐かしいSLの車窓には咲き誇る菜の花、金川県では梨の花が皆様を歓迎してくれることでしょう。

丹巴に連泊し、独特の建築と風景が絵になる チベット族の3つの村を訪問

独特の風習を持つギャロン・チベット族が暮らす、四川省の丹巴。中国の有力誌に最も美しいと紹介された村々を訪れます。石積み の塔と古民居が点在する梭坡(スオバ)村や甲居(ジアジュ)蔵寨、巴底(パディ)村、それぞれに異なる表情を見せる3つの代表的な村へご案内します。いずれもチベット建築の民家と周囲の自然が織り成す、絵になる風景が展開します。



梭坡村では「碉楼」といわれる石積み の塔が特徴的です(イメージ)

梨の花咲く金川

金川県は中国最大の雪梨の産地。雪梨とは梨の一種で形は洋梨のようですが、食感 は日本の梨に似たシャリシャリとした歯ざわりの良い人気のフルーツです。3月は一帯に梨の花が見られます。



梨の花が咲く金川へ(イメージ)

中国ジャイアントパンダ保護研究センター 雅安碧峰峡基地

上野公園で生まれ、2023年に中国に返還されたシャンシャンがいる雅安の中国ジャイアントパンダ保護研究センター・雅安碧峰峡基地を訪ねます。今年8歳になったシャンシャンもここで飼育されています。

※パンダの屋外飼育は日によるため、必ずしもシャンシャンがご覧いただけるわけではありません。



パンダに会いに行きましょう(イメージ)

茶馬古道の宿場町・上里古鎮

かつて四川省とチベットは、「茶馬古道」という交易路で結ばれていました。雅安は蒙頂茶(もうちょうちゃ)という高級茶の産地でした。その郊外にあり、街道の宿場町として栄えた上里古鎮へご案内します。



四川省の十大古鎮の一つ上里古鎮

四川山椒の効いた本場の麻婆豆腐

今から160年ほど前、陳お婆さんがレシピを考案したといわれる麻婆豆腐。その伝統の味を受け継ぐ店「陳麻婆豆腐」を訪ね、中国山椒をピリリときかせた本場四川の味覚をお楽しみいただけます。



独特の辛みと香りが食欲をそそります(イメージ)

利用予定航空会社：四川航空、中国東方航空		ツアーコード：CH014T	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【関西空港集合・9日間】 2026年 3月17日(火)		エコノミークラス利用 ¥365,000	ビジネスクラス利用 ¥665,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥60,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間に適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥12,200 / 8月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	関西空港16:10発 → 成都20:35着	夕刻、関西空港より航空機にて成都へ。成都着後、空港近郊のホテルへ。	(成都近郊簡陽泊) □□機
2	成都08:00発 → (芭石鉄道乗車) 楽山17:00着	午前、現役で走る蒸気機関車「芭石鉄道」の発着地・芭蕉溝鎮へ。着後、かつて炭鉱夫が暮らし、近代中国の面影をよく残す○芭蕉溝古鎮を散策。午後、菜の花畑を走る「芭石鉄道」のSL機関車に乗車します(注1)。その後、楽山へ。	(楽山泊) 朝昼夕
3	楽山09:00発 → 雅安17:00着	午前、楽山の観光へ。●凌雲寺から阿楽山大仏を上から眺めます。その後、遊覧船から大仏の全景をご覧ください。午後、雅安へ向かいます。	【2連泊】(雅安泊) 朝昼夕
4	雅安(雅安大熊猫繁殖研究基地) (上里古鎮)	午前、上野動物園で生まれたパンダのシャンシャンが暮らす●中国ジャイアントパンダ保護研究センター・雅安碧峰峡基地を見学します。午前中のパンダが活動的な時間帯に訪れます。(注2) 午後、茶馬古道の重要な中継地点として栄えた○上里古鎮を散策します。	(雅安泊) 朝昼夕
5	雅安09:00発 → 丹巴15:00着	午前、ギャロン・チベット族の暮らす丹巴へ。途中、石楼が並ぶ○梭坡村を望む展望台にて写真ストップします。	【2連泊】(丹巴泊) 朝昼夕
6	丹巴	午前、マイクロバスにて、素朴な村の風情が残る○中路蔵寨を訪ねます。午後、中国の有力誌「国家地理」に「最も美しい村」と評された●甲居蔵寨にご案内します。	(丹巴泊) 朝昼夕
7	丹巴09:00発 → 金川 → 馬爾康18:00着	午前、馬爾康へ向かいます。途中、○巴底村を観光します。その後、金川では○神仙包、○砂耳郷に立ち寄り、梨の花をお楽しみいただけます。(注1)	(馬爾康泊) 朝昼夕
8	馬爾康09:00発 → 成都20:00着	午前、高速道路にて成都へ。昼食後、『三国誌』ゆかりの地、●武侯祠、中国の古き良き街並みを残す○錦里を散策します。夕食は麻婆豆腐発祥の名店「陳麻婆豆腐」にて本場の味をご賞味いただけます。その後、空港近郊のホテルへ。	(成都近郊簡陽泊) 朝昼夕
9	成都09:35発 → 関西空港14:35着	午前、成都より航空機にて帰国の途へ。午後、関西空港に到着後、解散。	朝□□

※日程表の時刻は関西空港発着の四川航空の便を想定したものです。他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。
(注1) 例年の花の一般的な見頃に合わせてツアーを設定しておりますが、その年の気候により左右されるため、必ずしも「見頃」をご覧いただけるわけではありません。予めお楽しみください。
(注2) どのパンダがご覧いただけるかは当日の状況によります。必ずしもシャンシャンがご覧いただけるわけではありませんのでご了承ください。

○お食事に関して:軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ピュッフェ、あるいは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡単なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員:10名様 ■食事:朝食8回、昼食7回、夕食7回 ■添乗員:関西空港ご出発時から関西空港ご到着時まで同行いたします。 ■バスポート必要残存有効期間:入国時6か月以上 ■バスポート査証未使用欄:2ページ以上必要(見開きでなくても可)

※2025年末までは中国査証(ビザ)なしでの渡航が可能ですが、2026年1月1日以降の滞在については未定であるため、査証取得が必要となる場合の費用・必要書類について、以下の通りご案内します。「査証不要」での渡航期間の延長など、新たな情報が入りましたらご連絡いたします。
■中国査証代実費:2,250円(2025年6月現在) ■査証取得関連費: 22,000円 ■査証取得手数料:6,600円(税込) ■査証用写真:1枚(縦4.8cm×横3.3cm。カラー写真(背景は無背景かつ白色)。写真の上から頭頂部まで3mm～5mm。写真の下から顎まで7mm以上。正面向き。メガネ着用不可。前髪で顔が隠れた写真は不可(耳と眉毛が見え、額の80%程度が見えるもの) 顔周りに装飾品はつけない(ピアス、ネックレス、帽子などの着用不可) 上着無しで白いシャツだけの着用は背景と同等化するため不可。スナップ写真およびデジタル加工されたものは不可。6か月以内に撮影されたもの。) ■パスポート本体を預かります。([査証不要]となった場合も、鉄道の手に配に際して、パスポートのお顔写真ページのコピー(白黒可)が必要です。参加申込書とともにお送りください。) ■国籍が日本国以外の方でこのコースにお申し込みを希望される場合は、必ずお申し出くださいませ。なお、査証の必要有無や取得に関しては、ご自身で大使館へ問い合わせ、確認くださいますようお願い致します。

ご宿泊ホテル

- 成都近郊簡陽：天府空港雲享酒店(ジョイハブ・エア・ホテル)
- 楽山：楽山華邑酒店(ファラクシー・ルーシャン)
- 雅安：雅安正黄旗爾達林酒店(ダブルツリー・バイ・ヒルトン・雅安)
※シャワーのみの客室となります。
- 丹巴：丹巴吉美大酒店(ジメイ・ホテル)
※シャワーのみの客室となります。
- 馬爾康：馬爾康塵埃落定・豪生酒店(ハワードジョンソンホテル・ダストセトルメント)
※シャワーのみの客室となります。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

神戸空港発着

2つの故宮博物院を訪ねる

台湾食彩紀行 4日間



台湾故宮博物院 北院

ここに注目。旅のポイント

「食在台湾」台湾を代表する食の名店を厳選して堪能

台湾の魅力はやはり食文化。故宮博物院併設の「故宮晶華」では名品を模した料理もご用意し、美術鑑賞の余韻に浸るひとときを。台北では「金品茶楼」の本格点心や老舗「欣葉台菜」の伝統料理コースを満喫。台中では静かな路地に佇む、古民家を改装した人気レストラン「膳馨民間創作料理創始店」にて現代感覚を添えた逸品を。さらに台湾高速鉄道の車内では名物の駅弁も用意し、移動中も台湾の味覚を心ゆくまで楽しみいただけます。

「故宮晶華」(台北)



肉形石そっくりの至宝料理(イメージ)

「金品茶楼」(台北)



台北「金品茶楼」の本格点心(イメージ)

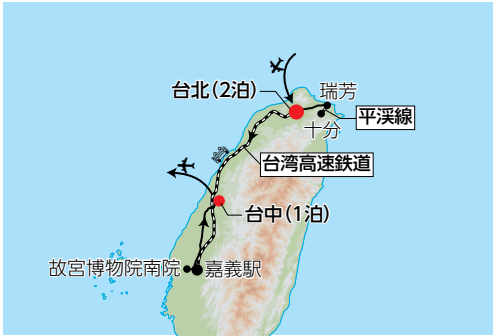
「膳馨民間創作料理創始店」(台中)



古民家を改装した台中「膳馨民間創作料理創始店」の店内の様子



伝統的な台湾料理(イメージ)



ツアープランナーより

台湾の魅力は、先住民族の多様な風俗や伝統、日本統治時代の影響、そして現代の感性が融合している点にあります。街を歩けば、道教の廟の隣に日本時代の建築が並び、その向かいにはカフェが建ち並ぶ、そんな風景も台湾ならではのです。本企画では、2つの故宮博物院を巡り、歴史と芸術に触れるとともに、選び抜かれた料理を通して「台湾を味わう旅」に仕立てました。故宮博物院北院に併設された「故宮晶華」の名品を模した至宝料理や、台北では本格点心や伝統料理、そして台中では古民家を改装した人気レストランなど、各地で様々な台湾の食文化に触れていただけます。往復は2025年に神戸空港から就航した直行便を利用し、関西から気軽に台湾へ出かけましょう。

中国の至宝が集結した台北の故宮博物院を鑑賞

中国最後の王朝、清が所有していた秘宝とも呼べる歴史的価値の高い文物の大部分は、戦火を免れ、台北に運ばれました。その貴重な歴史的文物を所蔵しているのが、台北の故宮博物院です。中国文明の栄華、文化遺産の数々をご覧いただけます。有名な「肉形石(にくがたせき)」を始め、素晴らしい展示品がありますので、じっくりとお楽しみください(写真は展示物のイメージとなります。展示物は予告なく変更されることが

あるため、必ずしも同じものが見られるとは限りませんのでご了承ください)。



象牙雲龍文套球 (イメージ)



台湾故宮博物院 北院 ©台湾観光協会

故宮博物院南院は建築や庭園にもご注目ください

2015年12月にオープンした故宮博物院南院。アジア文化をテーマにした展示品など見応えがあります。また屋外の建造物や庭園も見どころの一つで、アジア文明の源流ともいえる中華、インド、ペルシャの三大文明を意味する、「龍」・「象」・「馬」が文化的な象徴として表現されています。また、水墨画の「濃墨」「渴筆」「皴かし」の3つの技法をイメージして建造されているのも特徴です。北院とは異なる魅力を持つ南院をご堪能ください。



故宮博物院南院 ©台湾観光協会



故宮博物院南院の内部

ノスタルジックな鉄道体験と歴史ある街並みを巡る

台湾ならではのローカル線「平溪線」に乗り、緑豊かな山あいをゆったりと走る列車の旅へ。瑞芳駅から十分駅へ向かう車窓には、のどかな風景が広がります。十分では伝統の天燈上げ体験にもご案内。列車が通り過ぎた線路上で、願いを込めた天燈上げをお楽しみください。台北では龍山寺で台湾独特の習合的な宗教文化に触れたり、迪化街の情緒あふれる古い街並みを散策します。散策の間には伝統茶芸館でのティータイムもご用意しています。



ノスタルジックな風景が残るローカル線「平溪線」



願いを込めて天燈上げ体験 十分は山間にあり、神の住処に近く願い事が叶うといわれています(イメージ)

利用予定航空会社：スターラックス航空		ツアーコード：CT036Q	
集合・日数・出発日		旅行代金	
【神戸空港集合・4日間】 2026年 1月27日(火)、3月17日(火)		エコノミークラス利用 ¥248,000	ビジネスクラス利用 ¥398,000
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥30,000にて承ります)			
ビジネスクラス利用区間：日本発着の国際線区間に適用			
燃油サーチャージ別途目安：¥14,800／8月1日現在			

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	神戸空港11:00発→台北13:00着	午前、神戸空港より スターラックス航空 にて台北へ。台北着後、● 故宮博物院北院 の見学へ。 夕食は故宮博物院併設レストラン「故宮晶華」にてお召し上がりください。	(台北泊)朝昼夕
2	台北 瑞芳10:04発→十分10:31着 台北	午前、バスにて瑞芳へ。瑞芳から十分まで ローカル線 の 平溪線 に乗車します。田舎町の風情と老街の狭い路地を走る列車をお楽しみください。(注1)田舎の雰囲気が漂う 十分 の散策と 天燈上げ (注2)を楽しみます。その後、市内へ戻ります。昼食は地元民にも 人気の飲茶「金品茶楼」 にて。午後、○ 龍山寺 と 迪化街 の散策へ。また、 茶芸館 体験も楽しめます。夕食は 伝統台湾料理の名店「欣葉台菜」 にて。(注3)	(台北泊)朝昼夕
3	台北09:00発→台北11:11発→嘉義12:54着 台中17:30着	午前、○ 中正紀念堂 へ。その後、高速鉄道にて嘉義へ(注1)。昼食は、 高速鉄道内で駅弁 をご用意しました。嘉義着後、バスにて● 故宮博物院南院 へ。夕刻、バスにて台中へ。夕食は 台中にある名店「膳馨民間創作料理創始店」 にて。	(台中泊)朝昼夕
4	台中08:45発→神戸空港12:30着	午前、台中より スターラックス航空 にて神戸空港へ。神戸空港着後、解散。	朝機

(注1)鉄道の発着時刻は変更となる場合があります。
(注2)天候により中止になる場合もございます。予めお含みおください。
(注3)「欣葉台菜」の予約は60日前より開始となります。予約状況によっては別の日にご案内する場合や、他の同等クラスのレストランでの食事に変更してご案内する場合がございます。

○お食事に関して・軽めのお食事からしっかりとしたコース料理、ビュッフェ、或いは郷土料理など、地域や訪問国の食事の特色、ならびに旅程に応じてご用意しております。また、ツアー行程の関係で簡素なボックスタイプ等のお食事となる場合もございます。

ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食3回、昼食2回、夕食3回 ■添乗員：神戸空港ご出発時から神戸空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート必要残存有効期間：予定滞在日数以上 ■バスポート査証未使用欄：1ページ以上必要

ご宿泊ホテル

- 台北：ハワード・プラザ・ホテル台北(台北福華大飯店)
台北市内中心部に位置し、MRT 忠孝復興駅から徒歩約 7-8 分に位置するホテルです。
- 台中：エバーグリーン・ローレル・ホテル台中(長榮桂冠酒店)

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

神戸空港から始まる台湾の旅

2025年4月より、台湾のフルサービスキャリアであるスターラックス航空が、神戸ー台北・台中2路線同時就航を開始いたしました。神戸空港が国際化したことにより利便性が増し、関西圏から台湾へますます気軽に足を延ばせるようになりました。日本就航5年のスターラックス航空は、最新鋭の機材で、五感を満たす快適な空の旅を提供しています。ぜひ、この機会に神戸より台湾へお出かけください。



有名レストランとのコラボが好評の機内食 ©スターラックス航空



10.1インチ大画面ディスプレイ搭載のエコノミークラス ©スターラックス航空